

まえがき

この報告書は、平成21年度に実施した健康保険被保険者実態調査の結果をまとめたものである。

この調査は、健康保険の被保険者について、その年齢、標準報酬月額、標準賞与額、所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄等を調査し、健康保険制度の健全な発展を期するための基礎資料を得るため実施されるものである。また、この調査は昭和41年度から全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）及び健康保険組合管掌健康保険の被保険者について、実施されており、平成21年度からは全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）の被保険者を対象に加えている。

この調査結果は、健康保険の被保険者や被扶養者の実態を示すものであり、また受診率や医療費等を分析する際に欠かすことのできない基礎的統計である。

この報告書が制度運営の基礎資料として広く各方面に利用されるならば、誠に幸いである。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただいた全国健康保険協会、健康保険組合の担当者の方々及び関係者各位に対し、深く感謝の意を表する。

平成22年12月

厚生労働省保険局調査課長

村山 令二

目 次

まえがき

第1章 調査の概要	6
第2章 調査結果の概要	8
1. 加入者の年齢構成	8
2. 被保険者の年齢構成	10
3. 被扶養者の年齢構成	13
4. 年齢階級別扶養率	17
5. 標準報酬月額別扶養率	22
6. 総報酬額階級別扶養率	24
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	25
8. 年齢階級別平均標準賞与額	28
9. 年齢階級別平均総報酬額	32
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	35
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	36
12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等	38
13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	39
14. 被保険者数の推移について	40
15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について	52
第3章 統計表	
1. 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（全数統計）	59
第1表 被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額及び平均総報酬額	61
第2表 標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均標準報酬月額	62
第3表 標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均標準賞与額	68
第4表 総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均総報酬額	74
第5表 標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数及び平均標準報酬月額	81
第6表 標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数及び平均標準賞与額	85
第7表 総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数及び平均総報酬額	89

第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	92
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数、 及び平均年齢	98
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	104
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	110
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	117
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	118
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	120
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	126
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	132
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	138
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	139
2.	組合管掌健康保険（抽出率 1/500）	141
第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	143
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	144
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	150
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	156
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	163
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	167
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	171
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	174
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数 及び平均年齢	180
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	186

第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	192
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	199
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	200
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	202
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	208
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	214
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	220
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	221

3. 全国健康保険協会管掌健康保険（法第3条第2項被保険者）（全数統計）——223

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数及び扶養率	225
第2表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	226
第3表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	233
第4表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	234
第5表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	236

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康保険の被保険者の年齢、標準報酬月額、標準賞与額、その所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄、異動の状況を調査し、制度運営のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象及び調査客体

- (1) 調査対象は、平成21年10月1日現在の全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（以下「協会（一般）」という。）、組合管掌健康保険（以下「組合健保」という。）の被保険者及び全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）（以下「法第3条第2項被保険者」という。）並びに、協会（一般）における平成20年10月から平成21年9月までの間に処理した被保険者資格取得届及び被保険者資格喪失届により異動した者（以下「異動した者」という。）、及び、組合健保における平成21年10月中に異動した者とする（ただし、任意継続の資格取得者を除く。）。
- (2) 調査客体は、協会（一般）にあつては被保険者及び異動した者の全数、組合健保にあつては各健康保険組合（支部を有する健康保険組合にあつては支部）ごとに当該健康保険組合の被保険者の500分の1、異動した者の50分の1を系統抽出した者、法第3条第2項被保険者については、被保険者の全数とする。

（参考）平成20年4月に後期高齢者医療制度が施行されたことにより、後期高齢者広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者等はそれまで加入していた医療保険の被保険者、被扶養者の資格を喪失し、後期高齢者広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者になった。そのため、平成20年度調査より75歳以上の加入者（被保険者及び被扶養者をいう。以下同じ。）は原則健康保険からいなくなる。

ただし、外国に住所を有する加入者は引き続き健康保険の加入者となることから、75歳以上の加入者も若干存在する。

3. 調査時点

調査時点は、被保険者は平成21年10月1日現在、異動した者は、協会（一般）にあつては平成20年10月から平成21年9月までの間、組合健保にあつては平成21年10月中とした。

4. 調査票及び調査事項

組合健保における調査票は別に掲げる様式によった。調査事項は調査票の記載事項とした。なお、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については、全国健康保険協会より集計表の提出を受けた。

5. 集計及び解析

集計及び解析は厚生労働省保険局において行った。

平成 2 1 年度 健康保険被保険者実態調査調査票

秘

総務省承認－NO. 2 7 3 8 7
承認期限 平成 2 2 年 2 月 2 8 日まで

健康保険組合名 _____

適用区分	1. 強 制 2. 任 意 3. 任意継続 4. 特例退職													
事業所	都 道 府 県 番 号			業 態 番 号			事業所の被保険者数					人		
被 保 険 者	性 別	1. 男 2. 女		生 年 月	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成			年			月	被保険者等の区分	1. 被保険者 2. 加入者 3. 脱退者	
	資格取得時期	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降						標準報酬月額			千円	標準賞与額		千円
	介護保険	1. 該当 2. 適用除外 ()						基準収入額適用申請			1. 該当 2. 不該当			
	加入者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳												
	脱退者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳 7. 死亡 8. 後期高齢者												
被 扶 養 者		性 別	生 年 月						続 柄		扶養開始時期		介護保険	
	1	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	2	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	3	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	4	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	5	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	6	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	7	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		
	8	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平			年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 20年9月以前 2. 20年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		

被保険者証	記号		番号	
-------	----	--	----	--

注) 1. 数字を選択する箇所については、該当数字及び文字を○で囲むこと。
2. 数字を記入する箇所については、算用数字で右詰めに記入すること。

第2章 調査結果の概要

本調査では、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については全数、組合健保については500分の1の抽出率で抽出した被保険者（協会（一般）19,637,454人、組合健保31,920人、法第3条第2項被保険者11,275人）並びに協会（一般）については全数、組合健保については50分の1の抽出率で抽出した異動した者（協会（一般）8,656,921人、組合健保9,484人）について集計を行った。

なお、平成21年9月末日現在の毎月事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率（①／②）
協会（一般）	19,637,454	19,637,454	1.0
組合健保	15,964,039	31,920	500.1
法第3条第2項被保険者	11,275	11,275	1.0

（注）被保険者数については速報値である。

1. 加入者の年齢構成

健康保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口及び75歳未満総人口をそれぞれ100%とした場合の年齢構成と比較したものが表1及び図1である。

協会（一般）及び組合健保の加入者の年齢構成を総人口及び75歳未満総人口の年齢構成と比較すると低い年齢の割合が高く、その中でも組合健保の年齢構成は協会（一般）よりもその傾向が大きくなっている。また、法第3条第2項被保険者の加入者の年齢構成は55～69歳の者の割合が高くなっている。

後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳未満の者のみ健康保険の加入者になりうることから、75歳未満総人口と比較してみると、協会（一般）及び組合健保については、20歳未満では、75歳未満総人口の20.3%に対し、協会（一般）は22.9%、組合健保は24.8%とともに高く、また、20歳以上40歳未満でも75歳未満総人口の28.8%に比べ、協会（一般）33.8%、組合健保36.2%と高くなっている。

しかし、40歳以上65歳未満では、75歳未満総人口の37.5%に対し、協会（一般）は38.4%と高いが、組合健保は36.4%と低くなっており、さらに65歳以上75歳未満では、75歳未満総人口の13.4%に対し、協会（一般）4.9%、組合健保2.6%と、ともに低くなっている。

法第3条第2項被保険者については、20歳未満が11.4%、20歳以上40歳未満が20.5%と、ともに75歳未満総人口に比べ低くなっているが、40～64歳、65～74歳はそれぞれ53.0%、14.7%と75歳未満総人口よりも高くなっている。

また、年齢階級別の構成割合をみてみると、協会（一般）では60歳未満、組合健保では55歳未満で75歳未満総人口を上回っているが、それ以降の年齢階級では逆に75歳未満総人口が協会（一般）及び組合健保を上回っている。

法第3条第2項被保険者の年齢構成については、45歳未満及び70歳以上では75歳未満総

人口を下回っているが、45歳以上70歳未満では逆に75歳未満総人口を上回っている。

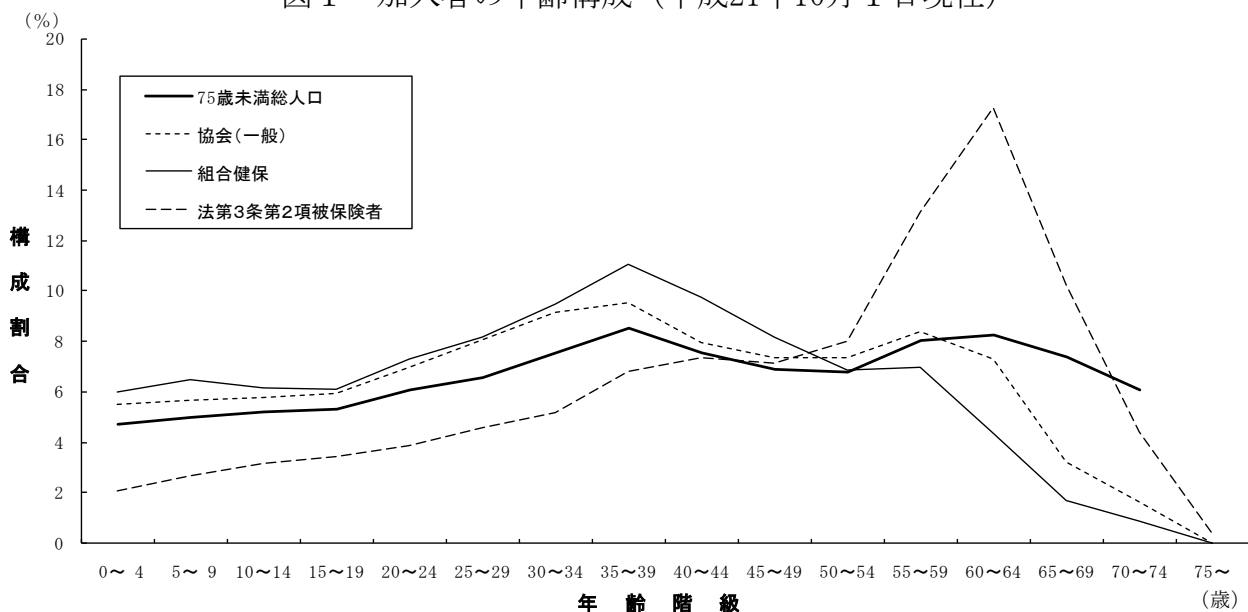
表1 総人口及び健康保険加入者の年齢構成（平成21年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	75歳未満 総人口	健 康 保 険		
			協会（一般）	組合健保	法第3条第2項 被保険者
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.2	4.7	5.5	6.0	2.1
5～9	4.5	5.0	5.7	6.5	2.7
10～14	4.7	5.2	5.8	6.2	3.2
15～19	4.8	5.3	5.9	6.1	3.4
20～24	5.4	6.1	7.0	7.3	3.9
25～29	5.9	6.6	8.1	8.2	4.6
30～34	6.7	7.5	9.2	9.5	5.2
35～39	7.6	8.5	9.5	11.1	6.8
40～44	6.7	7.5	8.0	9.8	7.4
45～49	6.1	6.9	7.4	8.2	7.1
50～54	6.1	6.8	7.3	6.9	8.0
55～59	7.2	8.0	8.4	7.0	13.1
60～64	7.4	8.3	7.3	4.4	17.3
65～69	6.6	7.4	3.2	1.7	10.2
70～74	5.4	6.1	1.7	0.9	4.4
75歳以上	10.8	・	0.0	0.0	0.4
（再 掲）					
0～19	18.1	20.3	22.9	24.8	11.4
うち未就学児	6.4	7.2	7.2	8.0	2.8
20～39	25.7	28.8	33.8	36.2	20.5
40～64	33.5	37.5	38.4	36.4	53.0
65～74	12.0	13.4	4.9	2.6	14.7
平均年齢（歳）	—	35.8	36.2	33.9	47.2

（注）「総人口」は、総務省統計局「平成21年10月1日現在推計人口」を用いている。

図1 加入者の年齢構成（平成21年10月1日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成11年と平成16～21年までの6年間の推移を示したものが表2である。なお、法第3条第2項被保険者については平成18年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

20歳未満の構成割合は、協会（一般）は緩やかな減少傾向、組合健保は緩やかな増加傾向となっており、平成21年には、協会（一般）が0.7%、組合健保が0.9%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、前回、前々回調査の0.1%から0.5%へと上昇している。

20～39歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともにゆるやかな減少傾向となっており、平成21年では協会（一般）は43.4%、組合健保は49.1%となっている。法第3条第2項被保険者については、増加傾向となっており、平成21年では16.6%となっている。

40～64歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向となっており、平成21年には、協会（一般）51.1%、組合健保47.4%となっている。法第3条第2項被保険者については減少傾向となっており、平成21年には65.5%となっている。

65～74歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに増加傾向にあり、平成21年は協会（一般）4.9%、組合健保2.7%となっている。法第3条第2項被保険者についても増加傾向にあり、平成21年には17.0%となっている。

また、平成21年の年齢構成を男女別にみると、協会（一般）の男性では35～39歳の割合が最も高く13.6%、次に30～34歳の12.7%となっており、協会（一般）の女性では25～29歳の割合が最も高く13.1%、次に30～34歳の12.0%となっている。一方、組合健保の男性では、35～39歳の割合が最も高く15.1%、次に40～44歳の13.5%となっており、また、組合健保の女性では25～29歳の割合が最も高く17.6%、次に高いのが30～34歳の15.6%となっており、この2つに24歳以下の階級を加えた34歳以下の割合で全体の5割近くを占めている。また、法第3条第2項被保険者の男性では、60～64歳の割合が最も高く19.8%、次に55～59歳の割合が16.1%となっており、法第3条第2項被保険者の女性では、60～64歳の割合が最も高く29.1%、次に55～59歳の割合が18.2%となっており、この2つに65～69歳を加えた55～69歳で全体の6割以上を占めている。

なお、平均年齢は、協会（一般）、組合健保については長期的に上昇傾向にあり、平成21年は協会（一般）43.6歳、組合健保41.3歳となっている。また、法第3条第2項被保険者は53.5歳となっている。男女別の平均年齢は、協会（一般）の男性が44.5歳、女性が42.1歳、組合健保の男性が42.6歳、女性が38.3歳、法第3条第2項被保険者の男性が52.7歳、女性が57.4歳となっている。組合健保の方が協会（一般）よりも男女間の年齢差が大きくなっており、法第3条第2項被保険者は男性よりも女性の平均年齢の方が高くなっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位：%)

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年		
							総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.9
20～24	10.3	8.2	8.1	8.0	7.8	7.5	7.0	5.3	9.7
25～29	13.6	13.2	12.6	12.2	11.8	11.6	11.3	10.1	13.1
30～34	10.1	12.8	13.0	13.1	12.9	12.8	12.4	12.7	12.0
35～39	9.2	10.2	10.5	11.2	11.6	12.2	12.7	13.6	11.2
40～44	9.7	9.7	10.0	9.8	10.0	10.4	10.8	10.9	10.5
45～49	11.7	10.1	10.0	9.9	10.0	10.1	10.2	9.8	10.9
50～54	12.0	11.4	10.8	10.4	10.0	10.0	10.0	9.7	10.6
55～59	10.5	11.4	12.1	12.7	12.2	11.7	10.9	11.1	10.7
60～64	6.4	7.0	6.9	6.6	7.4	8.4	9.1	10.4	7.1
65～69	3.2	2.7	2.7	2.8	3.0	3.2	3.5	4.2	2.4
70～74	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.5	1.0
75歳以上	0.8	1.1	1.1	1.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)									
20～39歳	43.2	44.4	44.2	44.4	44.1	44.1	43.4	41.8	46.0
40～64	50.3	49.6	49.8	49.5	49.6	50.6	51.1	51.9	49.7
65～74	4.5	4.0	4.0	4.2	4.3	4.6	4.9	5.7	3.4
平均年齢（歳）	42.8	43.1	43.2	43.3	43.5	43.3	43.6	44.5	42.1

(注1) 平成20年以前の数値は、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(2) 組合健保

(単位：%)

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年		
							総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.8	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	1.0
20～24	9.5	7.6	7.4	7.6	8.0	8.0	7.8	6.0	11.7
25～29	16.3	14.2	14.1	13.6	13.5	13.3	12.9	10.8	17.6
30～34	13.7	15.7	16.0	15.1	14.8	14.2	13.6	12.7	15.6
35～39	11.1	13.4	13.4	14.4	14.5	14.7	14.9	15.1	14.3
40～44	9.9	11.3	11.8	11.8	12.1	12.2	13.0	13.5	11.8
45～49	11.2	10.1	9.9	10.2	10.2	10.5	10.8	11.4	9.5
50～54	12.1	10.8	9.9	9.7	9.0	9.0	8.9	9.7	7.0
55～59	9.7	9.6	10.2	10.5	10.1	9.5	8.9	10.0	6.6
60～64	3.8	4.6	4.3	4.2	4.6	5.4	5.7	6.6	3.7
65～69	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.8	2.2	0.9
70～74	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	1.0	0.4
75歳以上	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	-
(再 掲)									
20～39歳	50.6	51.0	50.9	50.6	50.7	50.2	49.1	44.6	59.2
40～64	46.8	46.4	46.2	46.3	46.1	46.6	47.4	51.3	38.5
65～74	1.6	1.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.7	3.2	1.3
平均年齢（歳）	40.5	40.9	40.9	41.1	41.1	41.1	41.3	42.6	38.3

(注1) 平成20年以前の数値は、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位：％)

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年		
				総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.2	0.1	0.1	0.5	0.5	0.1
20～24	1.3	1.3	1.3	1.8	2.1	0.7
25～29	1.8	2.0	2.4	3.6	4.0	1.7
30～34	2.7	4.1	3.8	4.5	4.7	3.4
35～39	3.1	4.6	5.8	6.8	7.6	3.2
40～44	4.5	5.1	6.8	8.9	9.7	5.1
45～49	9.3	8.1	7.2	8.6	9.1	6.6
50～54	18.3	17.5	12.3	9.9	10.0	9.6
55～59	21.0	21.7	23.4	16.5	16.1	18.2
60～64	23.1	22.7	22.6	21.5	19.8	29.1
65～69	10.8	8.2	9.0	12.0	11.3	15.3
70～74	2.7	3.1	4.0	4.9	4.6	6.6
75歳以上	1.1	1.4	1.0	0.4	0.4	0.4
(再 掲)						
20～39歳	9.0	12.0	13.3	16.6	18.3	9.0
40～64	76.3	75.1	72.4	65.5	64.8	68.6
65～74	13.5	11.3	13.1	17.0	15.9	21.8
平均年齢 (歳)	55.0	54.2	54.7	53.5	52.7	57.4

(注1) 平成18年以前の数値は、各年9月末の数値であり、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成11年と平成16～21年までの6年間の推移を示したものが表3である。なお、法第3条第2項被保険者については平成18年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

被扶養者の19歳以下の割合は、協会（一般）、組合健保については概ね横ばいとなっており、協会（一般）51.7%、組合健保51.9%となっている。また、法第3条第2項被保険者では32.3%となっている。20～39歳の割合は、平成21年では、協会（一般）21.3%、組合健保21.5%であり、協会（一般）、組合健保ともにおおむね減少傾向となっている。また、法第3条第2項被保険者については27.9%となっており、前回調査よりも減少している。

40～64歳の割合は、協会（一般）、組合健保については概ね横ばいとなっており、平成21年では協会（一般）22.0%、組合健保24.0%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、29.1%となっている。

65～74歳の割合は、平成21年では協会（一般）は4.9%、組合健保は2.6%でおおむね横ばいとなっている。また、法第3条第2項被保険者は10.4%となっている。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位：%)

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.3	11.7	11.7	11.8	11.8	12.8	12.6
5～9	11.2	11.7	11.8	12.0	12.2	13.1	13.1
10～14	12.3	11.8	11.9	12.1	12.2	13.3	13.3
15～19	12.6	12.2	12.0	11.9	11.8	12.7	12.7
20～24	7.2	7.1	7.1	6.8	6.7	6.9	7.0
25～29	4.7	4.2	4.1	3.9	3.8	3.9	3.9
30～34	4.6	5.1	5.1	5.1	4.9	5.1	4.9
35～39	4.2	4.5	4.5	4.8	4.9	5.4	5.5
40～44	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	4.4
45～49	4.1	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7
50～54	4.3	4.4	4.2	4.0	3.8	3.9	3.9
55～59	4.1	4.8	5.1	5.5	5.4	5.6	5.2
60～64	3.4	3.6	3.6	3.5	3.7	4.5	4.9
65～69	3.0	2.4	2.5	2.5	2.5	2.7	2.8
70～74	2.8	2.4	2.4	2.4	2.4	2.2	2.1
75歳以上	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	0.0	0.0
(再 掲)							
0～19歳	47.4	47.4	47.4	47.7	48.0	51.9	51.7
うち未就学児	16.7	16.5
20～39	20.7	20.9	20.9	20.6	20.3	21.3	21.3
40～64	19.7	20.2	20.3	20.2	20.2	21.9	22.0
65～74	5.8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9

(注) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(2) 組合健保

(単位：％)

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.7	12.3	12.6	12.3	12.3	13.2	12.8
5～9	11.6	12.7	12.7	13.3	13.0	13.7	13.9
10～14	12.6	12.1	12.2	12.5	12.5	12.9	13.2
15～19	12.9	12.0	12.1	12.0	12.2	12.3	12.1
20～24	7.3	7.1	6.9	6.8	6.5	6.6	6.8
25～29	4.3	3.5	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0
30～34	5.6	6.1	6.0	5.3	5.5	5.3	4.8
35～39	5.5	6.2	6.1	6.6	6.4	6.7	6.9
40～44	5.0	5.6	5.7	5.7	5.7	6.0	6.1
45～49	5.7	4.8	4.8	4.6	4.9	5.0	5.3
50～54	5.9	5.3	5.1	4.9	4.7	4.7	4.7
55～59	3.9	4.4	4.8	5.0	5.0	5.0	4.8
60～64	1.8	2.3	2.2	2.1	2.3	2.8	3.0
65～69	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6
70～74	1.3	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.0
75歳以上	3.8	3.3	3.3	3.3	3.2	0.0	0.0
(再 掲)							
0～19歳	48.8	49.1	49.6	50.1	50.0	52.1	51.9
うち未就学児	17.3	17.0
20～39	22.7	22.9	22.1	21.8	21.5	21.7	21.5
40～64	22.2	22.4	22.6	22.3	22.6	23.6	24.0
65～74	2.5	2.3	2.4	2.5	2.7	2.6	2.6

(注) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位：％)

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.8	5.3	5.4	6.1
5～9	5.1	6.4	6.6	7.8
10～14	7.8	7.1	7.1	9.2
15～19	9.4	8.7	8.1	9.1
20～24	8.3	7.8	7.6	7.8
25～29	8.5	7.3	7.2	6.6
30～34	5.5	7.1	8.8	6.6
35～39	4.1	4.4	6.1	6.9
40～44	3.1	3.8	3.6	4.5
45～49	4.3	3.0	3.0	4.3
50～54	6.8	6.4	4.2	4.4
55～59	6.7	7.4	8.4	6.7
60～64	8.3	7.3	7.9	9.2
65～69	6.0	5.3	5.2	6.9
70～74	3.8	3.9	3.6	3.5
75歳以上	7.4	8.9	7.2	0.4
(再 掲)				
0～19歳	27.1	27.5	27.2	32.3
うち未就学児	8.3
20～39	26.4	26.5	29.8	27.9
40～64	29.2	27.8	27.0	29.1
65～74	9.8	9.2	8.8	10.4

(注1) 平成18年以前については9月末現在である。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

次に、平成21年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は、協会（一般）60.5%、組合健保59.8%、法第3条第2項被保険者50.9%となっている。また、協会（一般）及び組合健保の子の大半は20歳未満が占めており、20歳以上の子の割合は、協会（一般）9.1%、組合健保8.0%となっている。配偶者の割合は協会（一般）が34.4%、組合健保が38.0%、法第3条第2項被保険者が43.9%であり、協会（一般）及び組合健保は35～39歳、法第3条第2項被保険者は60～64歳の階級が最も多くなっている。直系尊属は協会（一般）4.2%、組合健保1.9%、法第3条第2項被保険者2.6%であり、いずれも60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は、協会（一般）は1.0%、組合健保は0.4%、法第3条第2項被保険者は2.6%であり、いずれの制度も各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成21年10月1日現在）

（1）協会（一般）

（単位：％）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	60.5	34.4	4.2	1.0
0～4歳	12.6	12.5	0.0	0.0	0.1
5～9	13.1	13.0	0.0	0.0	0.1
10～14	13.3	13.2	0.0	0.0	0.1
15～19	12.7	12.6	0.0	0.0	0.1
20～24	7.0	6.3	0.6	0.0	0.1
25～29	3.9	1.6	2.2	0.0	0.0
30～34	4.9	0.7	4.2	0.0	0.0
35～39	5.5	0.3	5.1	0.0	0.0
40～44	4.4	0.1	4.2	0.0	0.0
45～49	3.7	0.0	3.6	0.0	0.0
50～54	3.9	0.0	3.7	0.1	0.0
55～59	5.2	0.0	4.8	0.4	0.1
60～64	4.9	0.0	4.0	0.8	0.1
65～69	2.8	0.0	1.5	1.2	0.1
70～74	2.1	0.0	0.4	1.6	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（再掲）未就学児	16.5	16.4	0.0	0.0	0.1

(2) 組合健保

(単位：%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	59.8	38.0	1.9	0.4
0～4歳	12.8	12.8	0.0	0.0	0.0
5～9	13.9	13.9	0.0	0.0	0.0
10～14	13.2	13.1	0.0	0.0	0.1
15～19	12.1	12.0	0.0	0.0	0.0
20～24	6.8	6.5	0.4	0.0	0.0
25～29	3.0	1.0	1.9	0.0	0.0
30～34	4.8	0.3	4.5	0.0	0.0
35～39	6.9	0.1	6.7	0.0	0.0
40～44	6.1	0.0	6.1	0.0	0.0
45～49	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0
50～54	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0
55～59	4.8	0.0	4.6	0.2	0.0
60～64	3.0	0.0	2.6	0.4	0.0
65～69	1.6	0.0	1.0	0.6	0.0
70～74	1.0	0.0	0.2	0.6	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再掲) 未就学児	17.0	17.0	-	-	0.0

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位：%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	50.9	43.9	2.6	2.6
0～4歳	6.1	5.8	0.0	0.0	0.3
5～9	7.8	7.6	0.0	0.0	0.2
10～14	9.2	9.0	0.0	0.0	0.2
15～19	9.1	8.7	0.1	0.0	0.4
20～24	7.8	7.2	0.5	0.0	0.2
25～29	6.6	5.0	1.5	0.0	0.2
30～34	6.6	3.7	2.8	0.0	0.1
35～39	6.9	2.6	4.2	0.0	0.1
40～44	4.5	0.7	3.7	0.0	0.1
45～49	4.3	0.3	3.9	0.0	0.1
50～54	4.4	0.1	4.1	0.1	0.1
55～59	6.7	0.1	6.4	0.1	0.2
60～64	9.2	0.1	8.8	0.3	0.1
65～69	6.9	0.1	5.8	0.8	0.1
70～74	3.5	0.0	2.1	1.1	0.2
75歳以上	0.4	0.0	0.1	0.3	0.0
(再掲) 未就学児	8.3	7.9	0.0	0.0	0.4

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）の平成11年と平成16～21年までの6年間の推移を示したものが表5であり、平成21年の総数をグラフにしたのが図2である。なお、法第3条第2項被保険者については平成18年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

年齢計でみた扶養率は減少傾向にあるが、平成21年の協会（一般）については前年より上昇しており、0.772となっている。また、組合健保は0.879、法第3条第2項被保険者は0.525となっている。

年齢階級別に扶養率の最近6年間の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は協会（一般）は40～44歳、組合健保は45～49歳、法第3条第2項被保険者は35～39歳で毎年同じである。また、年齢階級別扶養率はいずれも減少傾向にあるが、協会（一般）の50歳以上では平成21年に上昇に転じている。

平成21年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに概ね増加し、協会（一般）、組合健保、法第3条第2項被保険者いずれも45～49歳でピークとなる。また、ピーク時の扶養率は協会（一般）1.731、組合健保1.891、法第3条第2項被保険者0.773である。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は協会（一般）1.126、組合健保1.213、法第3条第2項被保険者0.578となっている。女性の扶養率は、全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、協会（一般）0.200、組合健保0.120、法第3条第2項被保険者0.281となっている。また、協会（一般）、組合健保は40～44歳、法第3条第2項被保険者は35～39歳がピークとなり、その扶養率は協会（一般）0.428、組合健保0.276、法第3条第2項被保険者0.738である。

表5 年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年		
							総数	男性	女性
総 数	0.894	0.867	0.855	0.839	0.821	0.763	0.772	1.126	0.200
15～19歳	0.027	0.029	0.026	0.025	0.025	0.029	0.029	0.046	0.012
20～24	0.102	0.114	0.110	0.107	0.107	0.106	0.105	0.197	0.023
25～29	0.372	0.355	0.350	0.345	0.341	0.333	0.333	0.539	0.075
30～34	0.946	0.815	0.796	0.786	0.764	0.749	0.746	1.066	0.196
35～39	1.432	1.248	1.204	1.173	1.136	1.101	1.095	1.472	0.356
40～44	1.613	1.443	1.406	1.360	1.312	1.250	1.241	1.722	0.428
45～49	1.421	1.418	1.374	1.336	1.289	1.170	1.165	1.731	0.341
50～54	1.083	1.093	1.097	1.075	1.056	0.904	0.913	1.391	0.205
55～59	0.747	0.814	0.809	0.786	0.771	0.626	0.643	0.955	0.119
60～64	0.667	0.706	0.709	0.704	0.694	0.587	0.594	0.806	0.088
65～69	0.642	0.643	0.642	0.639	0.632	0.567	0.576	0.759	0.061
70～74	0.545	0.540	0.542	0.540	0.537	0.484	0.488	0.666	0.037
75歳以上	0.406	0.385	0.388	0.391	0.382	0.223	0.314	0.455	0.028

（注）平成20年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(2) 組合健保

年齢階級	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年		
							総数	男性	女性
総 数	1.075	1.015	0.992	0.970	0.934	0.893	0.879	1.213	0.120
15～19歳	0.008	0.044	0.020	0.012	0.008	0.022	0.038	0.056	0.000
20～24	0.048	0.056	0.066	0.060	0.049	0.075	0.054	0.093	0.008
25～29	0.289	0.267	0.253	0.242	0.256	0.257	0.237	0.383	0.034
30～34	0.891	0.740	0.742	0.707	0.688	0.680	0.674	0.983	0.100
35～39	1.554	1.293	1.226	1.217	1.142	1.113	1.088	1.465	0.184
40～44	1.923	1.674	1.589	1.540	1.452	1.425	1.380	1.802	0.276
45～49	1.872	1.754	1.730	1.688	1.594	1.513	1.440	1.891	0.201
50～54	1.503	1.451	1.452	1.427	1.424	1.259	1.268	1.615	0.174
55～59	1.026	1.064	1.070	1.017	1.015	0.917	0.893	1.130	0.085
60～64	0.846	0.904	0.890	0.846	0.863	0.775	0.753	0.930	0.028
65～69	0.741	0.848	0.853	0.815	0.809	0.770	0.766	0.902	0.033
70～74	0.769	0.826	0.722	0.788	0.759	0.708	0.738	0.850	0.056
75歳以上	0.500	0.438	0.333	0.444	0.412	—	—	—	—

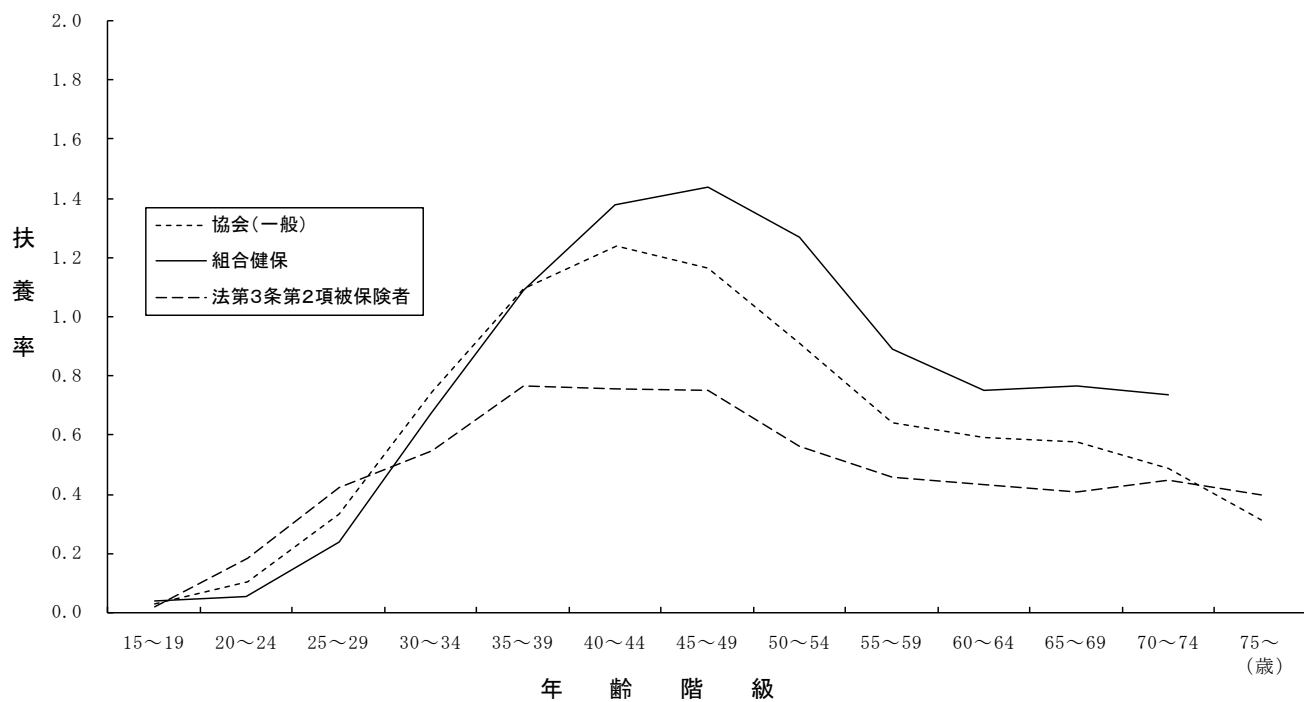
(注) 平成20年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年		
				総数	男性	女性
総 数	0.496	0.515	0.659	0.525	0.578	0.281
15～19歳	0.000	0.000	0.000	0.019	0.020	0.000
20～24	0.119	0.451	0.405	0.185	0.194	0.071
25～29	0.417	0.400	0.388	0.424	0.448	0.171
30～34	0.949	0.576	1.009	0.547	0.581	0.324
35～39	0.985	0.925	1.103	0.766	0.769	0.738
40～44	0.925	0.908	0.959	0.758	0.761	0.731
45～49	0.680	0.679	0.799	0.749	0.773	0.602
50～54	0.553	0.534	0.771	0.564	0.624	0.277
55～59	0.381	0.421	0.575	0.459	0.507	0.266
60～64	0.369	0.377	0.498	0.433	0.507	0.201
65～69	0.400	0.505	0.510	0.406	0.479	0.162
70～74	0.445	0.512	0.600	0.450	0.558	0.105
75歳以上	0.329	0.379	0.581	0.396	0.462	0.111

(注) 平成18年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 年齢階級別扶養率（平成21年10月1日現在）



次に、平成21年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。

年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は協会（一般）0.467、組合健保0.525、法第3条第2項被保険者は0.267、配偶者は協会（一般）0.265、組合健保0.334、法第3条第2項被保険者は0.231、直系尊属は協会（一般）0.032、組合健保0.016、法第3条第2項被保険者は0.014、その他は協会（一般）0.007、組合健保0.004、法第3条第2項被保険者は0.014と、おおむね組合健保が一番高く、法第3条第2項被保険者が一番低くなっているが、直系尊属の扶養率は協会（一般）が一番高くなっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは協会（一般）は40～44歳の0.865、組合健保は45～49歳の0.979、法第3条第2項被保険者は35～39歳の0.490である。配偶者の扶養率は、協会（一般）、組合健保については、65～69歳、法第3条第2項被保険者については、70～74歳が最も高くなっており、協会（一般）は0.483、組合健保は0.681、法第3条第2項被保険者が0.364となっている。直系尊属の扶養率は年齢階級別にみると山型をなしており、協会（一般）、組合健保、法第3条第2項被保険者ともに40～44歳がピークであり、協会（一般）が0.077、組合健保が0.034、法第3条第2項被保険者が0.043となっている。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成21年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.772	0.467	0.265	0.032	0.007
15～19歳	0.029	0.008	0.009	0.007	0.004
20～24	0.105	0.052	0.039	0.010	0.004
25～29	0.333	0.197	0.113	0.020	0.004
30～34	0.746	0.482	0.222	0.038	0.005
35～39	1.095	0.741	0.288	0.060	0.007
40～44	1.241	0.865	0.289	0.077	0.009
45～49	1.165	0.821	0.272	0.063	0.010
50～54	0.913	0.602	0.281	0.020	0.010
55～59	0.643	0.300	0.332	0.002	0.010
60～64	0.594	0.148	0.437	0.000	0.009
65～69	0.576	0.083	0.483	0.000	0.009
70～74	0.488	0.057	0.420	0.000	0.010
75歳以上	0.314	0.036	0.262	0.000	0.015

(2) 組合健保

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.879	0.525	0.334	0.016	0.004
15～19歳	0.038	0.020	0.014	0.000	0.003
20～24	0.054	0.026	0.021	0.004	0.003
25～29	0.237	0.136	0.092	0.008	0.001
30～34	0.674	0.420	0.236	0.016	0.002
35～39	1.088	0.716	0.338	0.029	0.004
40～44	1.380	0.932	0.410	0.034	0.005
45～49	1.440	0.979	0.424	0.029	0.007
50～54	1.268	0.794	0.461	0.010	0.003
55～59	0.893	0.374	0.513	0.001	0.005
60～64	0.753	0.158	0.594	0.000	0.001
65～69	0.766	0.075	0.681	0.000	0.010
70～74	0.738	0.066	0.660	0.000	0.012
75歳以上	-	-	-	-	-

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.525	0.267	0.231	0.014	0.014
15～19歳	0.019	0.000	0.019	0.000	0.000
20～24	0.185	0.088	0.073	0.010	0.015
25～29	0.424	0.254	0.147	0.015	0.007
30～34	0.547	0.341	0.186	0.012	0.008
35～39	0.766	0.490	0.230	0.040	0.007
40～44	0.758	0.484	0.221	0.043	0.010
45～49	0.749	0.482	0.221	0.039	0.007
50～54	0.564	0.342	0.196	0.014	0.012
55～59	0.459	0.226	0.201	0.004	0.028
60～64	0.433	0.166	0.248	0.002	0.018
65～69	0.406	0.100	0.299	0.001	0.006
70～74	0.450	0.075	0.364	0.000	0.011
75歳以上	0.396	0.104	0.292	0.000	0.000

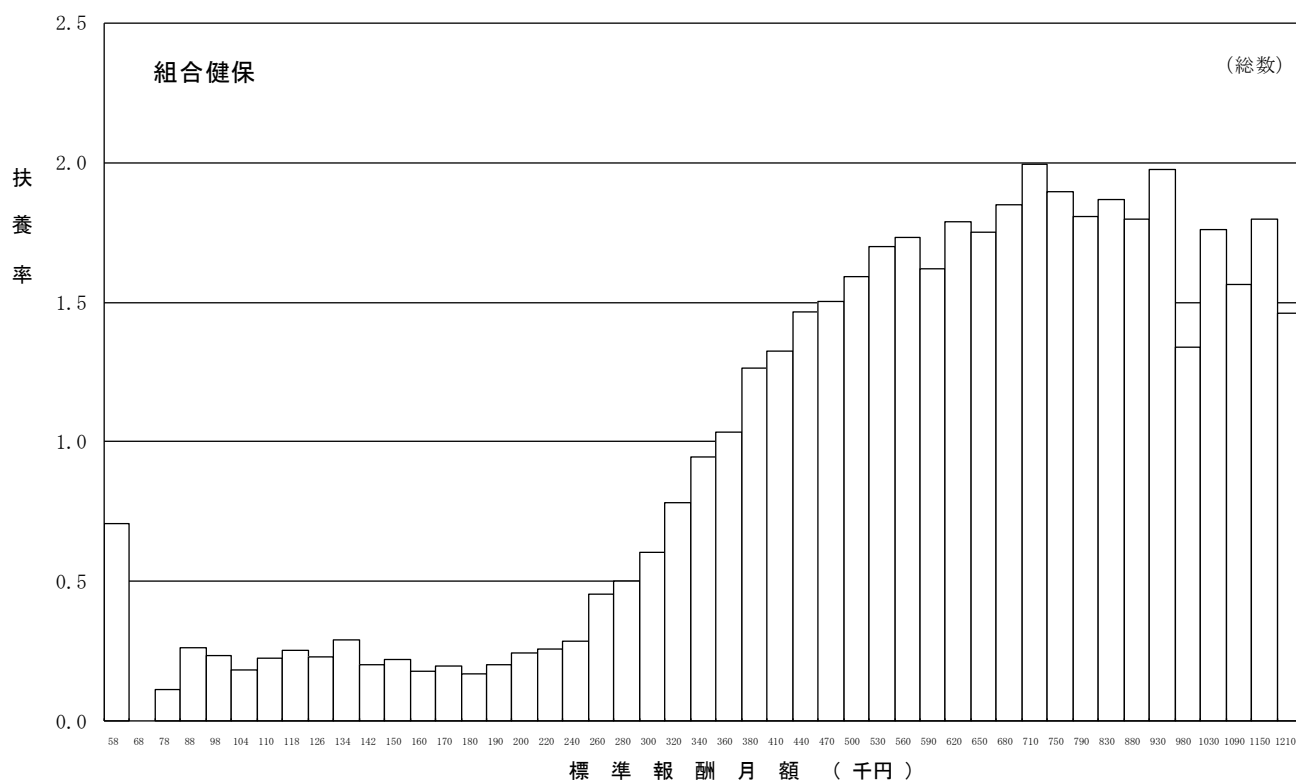
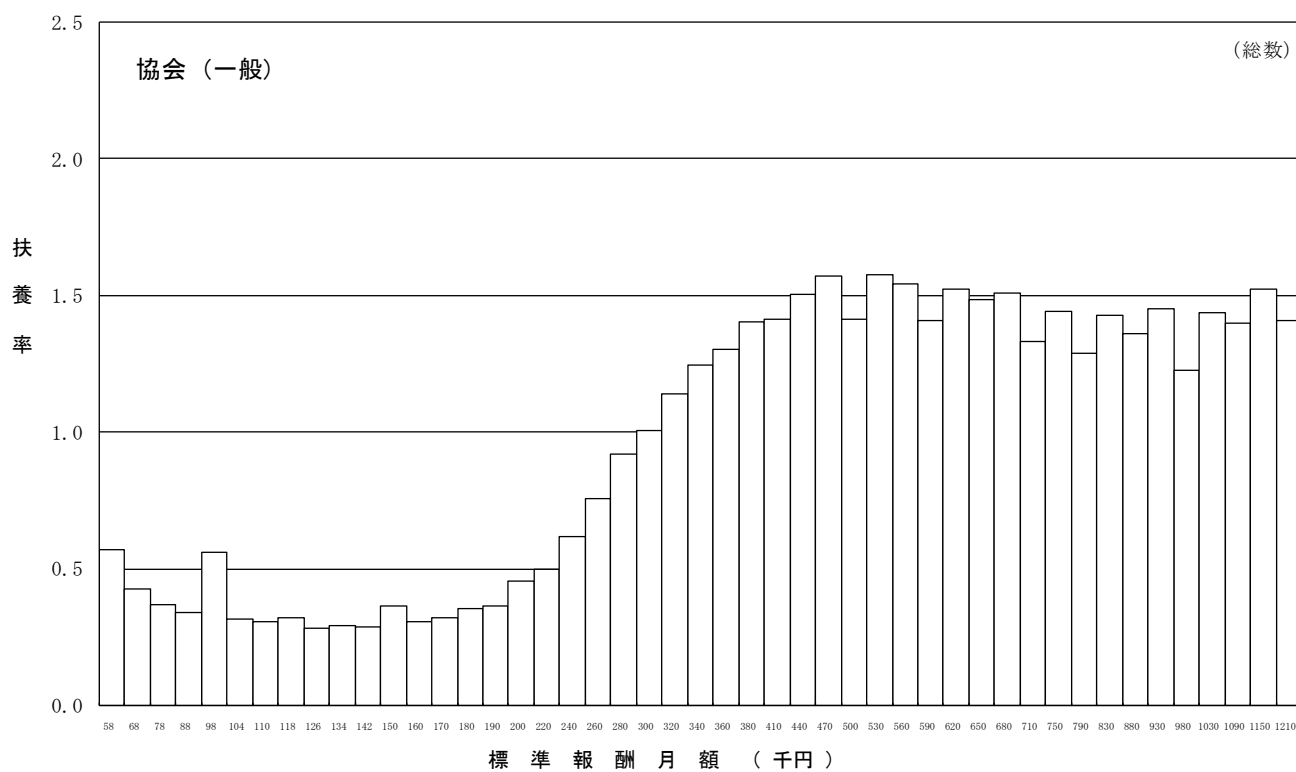
5. 標準報酬月額別扶養率

標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、協会（一般）、組合健保ともに、おおむね標準報酬月額が20万円程度から60万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは、協会（一般）で標準報酬月額47万円の1.737、組合健保で標準報酬月額71万円の2.061となっている。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成21年10月1日現在）

標準報酬月額	協会（一般）			組合健保		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総数	0.772	1.126	0.200	0.879	1.213	0.120
58,000 円	0.569	0.854	0.137	0.706	1.000	0.000
68,000	0.425	0.673	0.171	0.000	0.000	0.000
78,000	0.369	0.685	0.151	0.111	0.000	0.143
88,000	0.339	0.618	0.190	0.261	0.000	0.316
98,000	0.559	0.904	0.175	0.235	0.444	0.121
104,000	0.316	0.602	0.212	0.183	0.000	0.213
110,000	0.308	0.589	0.210	0.227	0.467	0.119
118,000	0.322	0.628	0.202	0.255	0.483	0.206
126,000	0.284	0.542	0.199	0.229	0.441	0.188
134,000	0.294	0.565	0.194	0.290	0.500	0.241
142,000	0.288	0.547	0.190	0.199	0.443	0.144
150,000	0.363	0.682	0.183	0.221	0.489	0.116
160,000	0.309	0.553	0.183	0.180	0.298	0.135
170,000	0.323	0.561	0.181	0.196	0.371	0.110
180,000	0.356	0.592	0.183	0.169	0.300	0.096
190,000	0.363	0.590	0.182	0.203	0.353	0.110
200,000	0.457	0.714	0.178	0.242	0.412	0.112
220,000	0.500	0.735	0.189	0.257	0.430	0.091
240,000	0.619	0.855	0.202	0.284	0.451	0.089
260,000	0.758	0.995	0.208	0.453	0.658	0.076
280,000	0.920	1.138	0.226	0.499	0.712	0.092
300,000	1.004	1.247	0.222	0.604	0.825	0.066
320,000	1.141	1.365	0.256	0.782	1.003	0.120
340,000	1.244	1.460	0.268	0.948	1.150	0.129
360,000	1.303	1.521	0.266	1.034	1.258	0.115
380,000	1.404	1.606	0.290	1.264	1.430	0.176
410,000	1.411	1.626	0.264	1.327	1.501	0.221
440,000	1.505	1.692	0.287	1.464	1.633	0.168
470,000	1.570	1.737	0.313	1.505	1.651	0.205
500,000	1.412	1.636	0.220	1.593	1.727	0.140
530,000	1.577	1.722	0.286	1.699	1.809	0.175
560,000	1.543	1.705	0.240	1.732	1.854	0.298
590,000	1.406	1.608	0.202	1.622	1.725	0.184
620,000	1.521	1.668	0.234	1.788	1.867	0.346
650,000	1.487	1.651	0.208	1.753	1.837	0.118
680,000	1.510	1.653	0.236	1.849	1.986	0.087
710,000	1.332	1.541	0.177	1.996	2.061	0.111
750,000	1.442	1.606	0.206	1.894	1.992	0.143
790,000	1.287	1.502	0.164	1.808	1.958	0.133
830,000	1.427	1.582	0.208	1.866	1.953	0.250
880,000	1.358	1.535	0.187	1.798	1.900	0.444
930,000	1.449	1.599	0.218	1.978	2.000	0.000
980,000	1.225	1.436	0.201	1.337	1.417	0.000
1,030,000	1.436	1.584	0.233	1.762	1.847	0.500
1,090,000	1.400	1.564	0.219	1.563	1.744	0.000
1,150,000	1.524	1.665	0.250	1.800	1.909	0.000
1,210,000	1.407	1.560	0.227	1.458	1.538	0.235

図3 標準報酬月額別扶養率（平成21年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額を加算して総報酬額を算出し、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、協会（一般）、組合健保ともに、おおむね総報酬が200万円程度から700万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは協会（一般）が1,750万円以上1,800万円未満の1.990、組合健保が1,800万円以上1,850万円未満の2.875となっている。また、800万円未満の階級においては、扶養率は協会（一般）の方が組合健保よりも高くなっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成21年10月1日現在）

総報酬額階級	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性
総 数	0.772	1.126	0.200	0.879	1.213	0.120
～ 999,000 円	0.474	0.780	0.148	0.238	0.444	0.083
1,000,000 ～ 1,499,000	0.406	0.757	0.197	0.210	0.373	0.160
1,500,000 ～ 1,999,000	0.325	0.604	0.190	0.223	0.411	0.168
2,000,000 ～ 2,499,000	0.398	0.658	0.183	0.223	0.396	0.124
2,500,000 ～ 2,999,000	0.487	0.738	0.185	0.238	0.421	0.099
3,000,000 ～ 3,499,000	0.681	0.936	0.192	0.370	0.580	0.076
3,500,000 ～ 3,999,000	0.826	1.086	0.207	0.452	0.656	0.080
4,000,000 ～ 4,499,000	1.021	1.278	0.232	0.606	0.833	0.092
4,500,000 ～ 4,999,000	1.182	1.440	0.245	0.773	0.994	0.098
5,000,000 ～ 5,499,000	1.313	1.567	0.276	1.033	1.247	0.153
5,500,000 ～ 5,999,000	1.420	1.660	0.301	1.191	1.382	0.163
6,000,000 ～ 6,499,000	1.419	1.654	0.269	1.321	1.505	0.144
6,500,000 ～ 6,999,000	1.531	1.738	0.303	1.444	1.626	0.215
7,000,000 ～ 7,499,000	1.487	1.691	0.266	1.524	1.665	0.261
7,500,000 ～ 7,999,000	1.577	1.755	0.287	1.512	1.679	0.152
8,000,000 ～ 8,499,000	1.606	1.764	0.289	1.708	1.817	0.196
8,500,000 ～ 8,999,000	1.469	1.657	0.213	1.712	1.814	0.067
9,000,000 ～ 9,499,000	1.422	1.608	0.194	1.721	1.825	0.200
9,500,000 ～ 9,999,000	1.526	1.670	0.232	1.790	1.862	0.286
10,000,000 ～ 10,499,000	1.620	1.751	0.228	1.739	1.868	0.111
10,500,000 ～ 10,999,000	1.429	1.599	0.186	1.853	1.951	0.059
11,000,000 ～ 11,499,000	1.493	1.642	0.187	2.035	2.075	0.167
11,500,000 ～ 11,999,000	1.251	1.459	0.202	1.735	1.817	0.000
12,000,000 ～ 12,499,000	1.443	1.590	0.229	1.819	1.910	0.300
12,500,000 ～ 12,999,000	1.526	1.665	0.295	1.894	2.000	0.400
13,000,000 ～ 13,499,000	1.378	1.539	0.235	2.054	2.121	0.400
13,500,000 ～ 13,999,000	1.456	1.599	0.223	1.924	1.974	0.000
14,000,000 ～ 14,499,000	1.560	1.712	0.222	1.765	1.875	0.000
14,500,000 ～ 14,999,000	1.359	1.519	0.225	1.512	1.573	0.333
15,000,000 ～ 15,499,000	1.614	1.742	0.285	1.895	2.118	0.000
15,500,000 ～ 15,999,000	1.641	1.757	0.235	1.744	1.786	0.000
16,000,000 ～ 16,499,000	1.629	1.752	0.272	2.212	2.212	-
16,500,000 ～ 16,999,000	1.686	1.808	0.242	2.120	2.120	-
17,000,000 ～ 17,499,000	1.843	1.969	0.254	1.810	2.111	0.000
17,500,000 ～ 17,999,000	1.878	1.990	0.264	1.737	1.824	1.000
18,000,000 ～ 18,499,000	1.795	1.884	0.295	2.300	2.875	0.000
18,500,000 ～ 18,999,000	1.649	1.762	0.234	1.286	1.500	0.000
19,000,000 ～ 19,499,000	1.658	1.743	0.358	0.667	0.667	-
19,500,000 ～ 19,999,000	1.449	1.534	0.220	1.462	1.609	0.333
20,000,000 ～	1.516	1.633	0.228	1.333	1.333	-

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

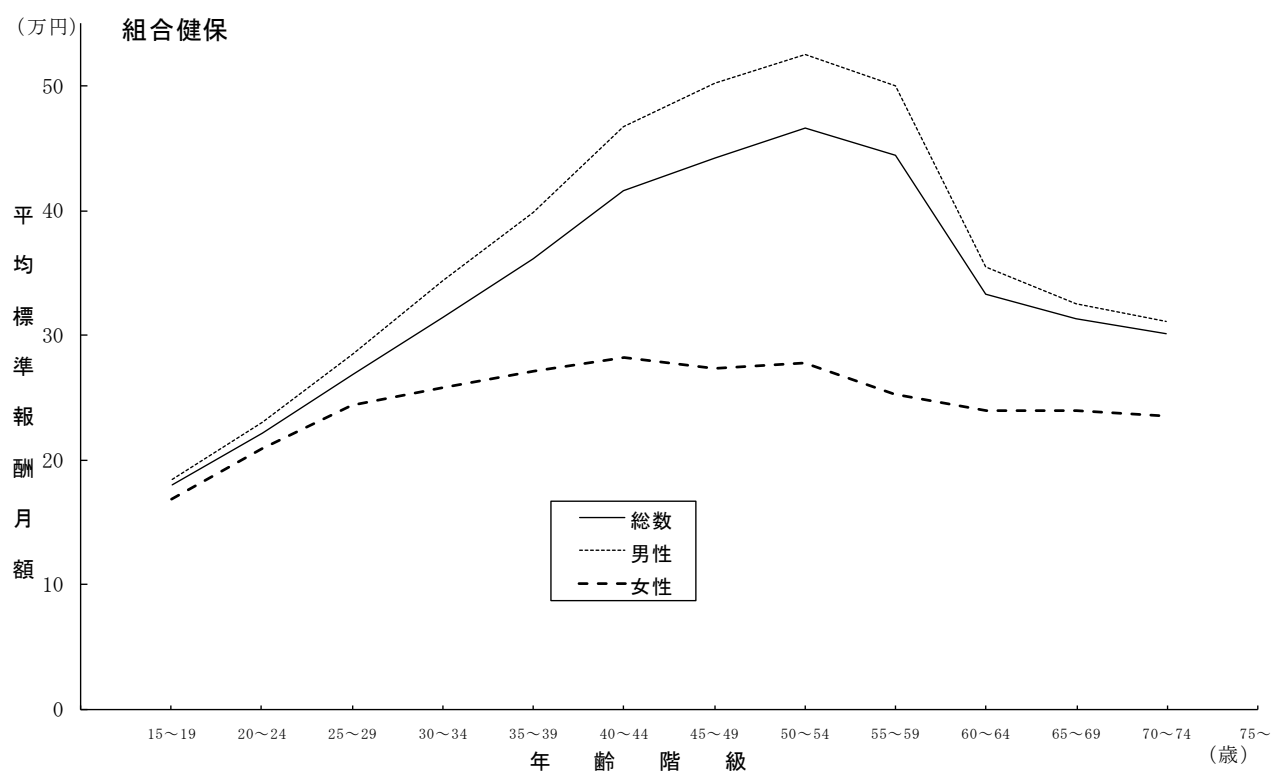
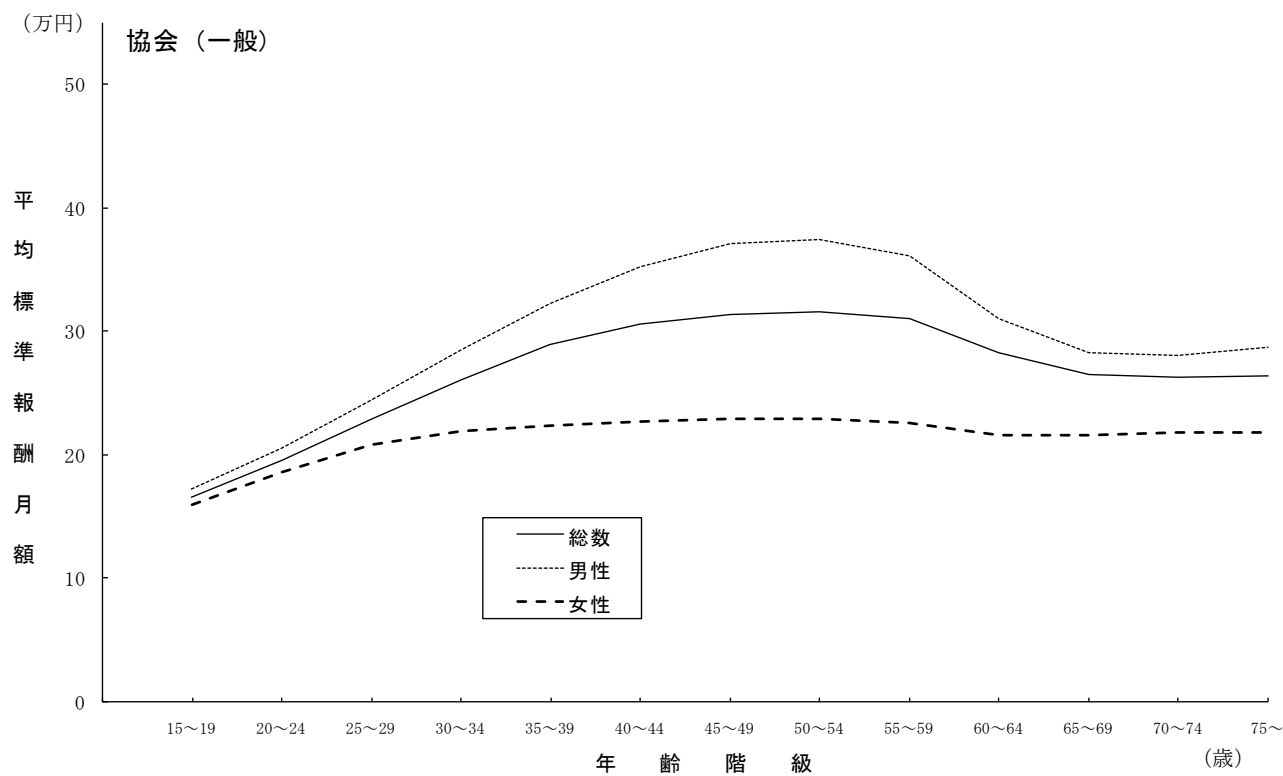
被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9－1及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が374,873円、組合健保が525,710円となっており、これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、協会（一般）は約2.17倍、組合健保は約2.84倍となっている。協会（一般）は40歳ごろ、組合健保は45歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに3～5万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともにおおむね減少する傾向となっている。一方、女性の平均標準報酬月額は、協会（一般）は16万円～23万円台、組合健保は17万円～28万円台で推移している。

平均標準報酬月額について、組合健保の協会（一般）に対する比率でみると、男性は50～54歳、女性は40～44歳の階級が最も大きく、男性で約1.40倍、女性で約1.24倍となっており、また、平均では男性で約1.28倍、女性で約1.17倍となっている。

表9－1 年齢階級別平均標準報酬月額（平成21年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	279,216	317,127	217,924	359,898	405,845	255,452	1.289	1.280	1.172
15～19歳	166,415	172,898	159,875	179,577	184,859	168,568	1.079	1.069	1.054
20～24	195,804	206,558	186,329	220,798	230,982	208,834	1.128	1.118	1.121
25～29	228,822	245,185	208,338	268,245	285,423	244,373	1.172	1.164	1.173
30～34	261,085	285,605	218,980	313,711	343,879	257,804	1.202	1.204	1.177
35～39	289,429	322,878	223,802	361,248	398,624	271,724	1.248	1.235	1.214
40～44	306,141	353,023	227,043	416,212	467,264	282,435	1.360	1.324	1.244
45～49	313,883	372,013	229,245	442,044	503,279	273,748	1.408	1.353	1.194
50～54	316,103	374,873	229,005	465,977	525,710	277,784	1.474	1.402	1.213
55～59	310,868	361,377	225,990	444,095	500,043	253,246	1.429	1.384	1.121
60～64	283,013	311,040	216,382	333,043	355,658	240,107	1.177	1.143	1.110
65～69	265,836	283,573	216,057	312,807	326,237	240,109	1.177	1.150	1.111
70～74	263,686	281,564	218,590	300,641	311,355	235,167	1.140	1.106	1.076
75歳以上	264,485	287,522	217,927	—	—	—	—	—	—

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成21年10月1日現在）



次に平成21年の平均標準報酬月額の伸び率を示したものが表9－2である。

平均標準報酬月額の伸び率は、協会（一般）の男性は3.39%減、女性は0.96%減、組合健保の男性は4.03%減、女性は1.40%減となっている。この伸び率を要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は3.61%減、女性は1.07%減、組合健保の男性は4.29%減、女性は1.55%減、年齢構成の変化による分の影響では、協会（一般）の男性は0.23%増、女性は0.11%増、組合健保の男性は0.27%増、女性は0.16%増となっている。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成20年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均標準報酬月額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表9－2 平均標準報酬月額伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成20年平均 標準報酬月額 (円)	平成21年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	287,137	279,216	▲ 2.76	▲ 2.98	0.23
男性	328,265	317,127	▲ 3.39	▲ 3.61	0.23
女性	220,044	217,924	▲ 0.96	▲ 1.07	0.11

(2) 組合健保

	平成20年平均 標準報酬月額 (円)	平成21年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	372,655	359,898	▲ 3.42	▲ 3.66	0.25
男性	422,893	405,845	▲ 4.03	▲ 4.29	0.27
女性	259,068	255,452	▲ 1.40	▲ 1.55	0.16

8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保とも標準報酬月額と同様の山型をなしており、協会（一般）、組合健保ともに45～49歳でピークとなっており、協会（一般）は544,159円、組合健保は1,770,938円となっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると、協会（一般）は約4.50倍、組合健保は約7.72倍となり、いずれも平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きく、組合健保の場合は特に大きくなっている。

女性の平均標準賞与額も男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかである。また、年齢の上昇に伴い男性との差は大きくなる傾向にあり、その中でも40歳～50歳代では男性よりもかなり低い金額になっている。

平均標準賞与額について、組合健保の協会（一般）に対する比率は平均で男性が約2.82倍、女性が約1.68倍となっており、協会（一般）と組合健保との比率は平均標準報酬月額の場合よりも大きくなっている。

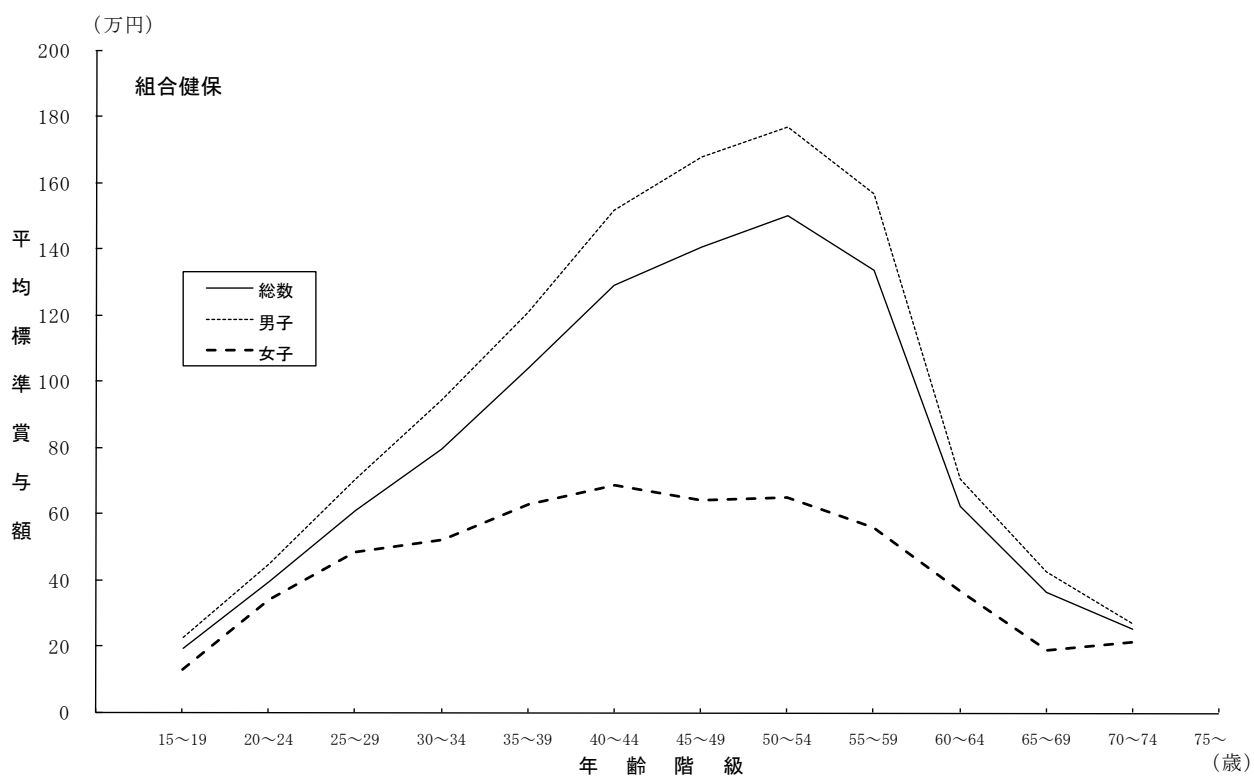
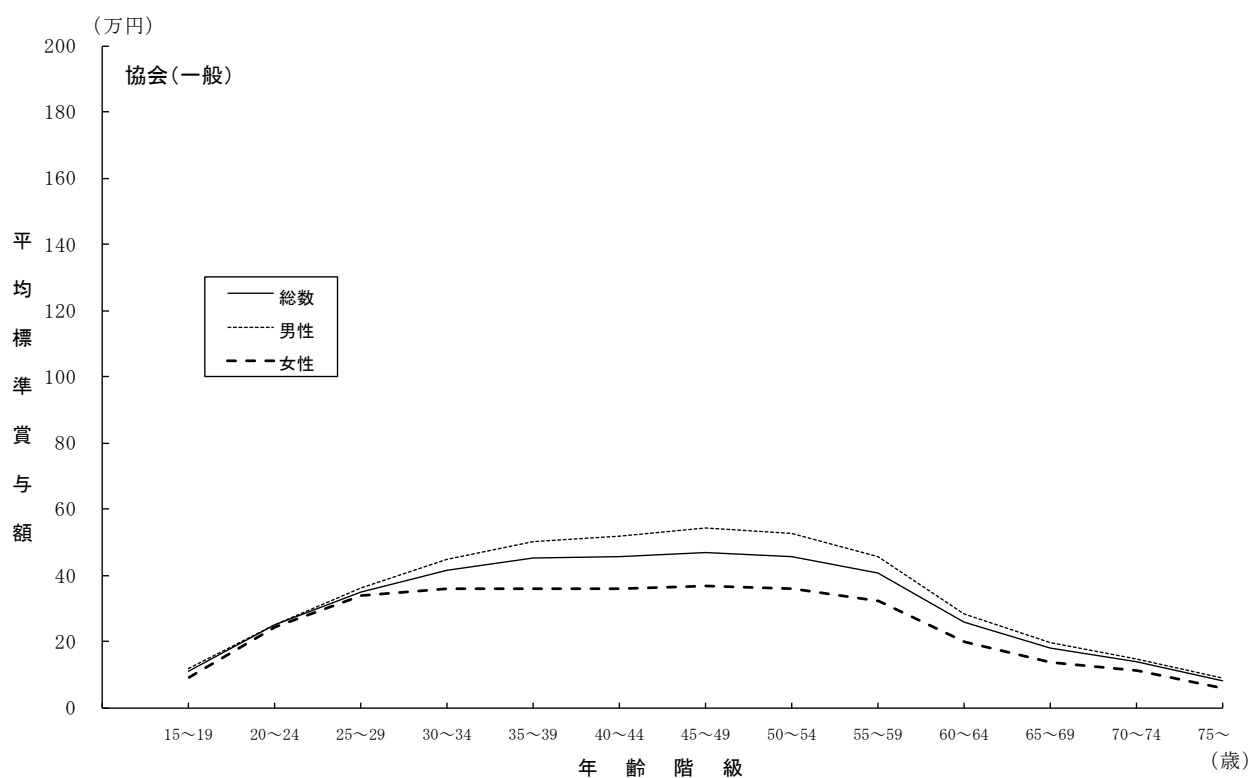
表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成21年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	389,655	432,800	321,219	1,008,933	1,221,861	539,024	2.589	2.823	1.678
15～19 歳	107,951	120,973	94,813	197,563	229,308	131,400	1.830	1.896	1.386
20～24	248,925	252,663	245,631	401,385	453,684	339,762	1.612	1.796	1.383
25～29	352,233	364,239	337,183	615,126	708,938	483,967	1.746	1.946	1.435
30～34	415,990	449,349	358,738	797,015	944,949	520,529	1.916	2.103	1.451
35～39	455,447	504,840	358,770	1,041,032	1,211,475	628,023	2.286	2.400	1.750
40～44	460,351	520,428	359,553	1,291,498	1,519,063	687,364	2.805	2.919	1.912
45～49	471,680	544,159	367,033	1,407,555	1,681,886	643,390	2.984	3.091	1.753
50～54	460,353	529,114	359,439	1,503,230	1,770,938	649,609	3.265	3.347	1.807
55～59	408,230	459,375	323,371	1,339,713	1,571,000	559,028	3.282	3.420	1.729
60～64	257,466	283,862	198,062	625,473	708,934	367,832	2.429	2.497	1.857
65～69	181,432	199,346	137,758	366,742	426,920	189,969	2.021	2.142	1.379
70～74	137,502	148,623	112,319	255,060	270,449	213,167	1.855	1.820	1.898
75歳以上	80,289	90,025	61,080	-	-	-	-	-	-

（注1）平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成21年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。
総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、協会（一般）は約1.40ヶ月分、組合健保は約2.80ヶ月分となっている。

この比率を年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに山型をなしており、ピークは協会（一般）が30～34歳の約1.59ヶ月分、組合健保が50～54歳の約3.23ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少し、協会（一般）は60歳以上、組合健保は70歳以上になると、平均標準賞与額は平均標準報酬月額の1ヶ月分を下回っている。

次に男女別でみると、協会（一般）は男女ともに30～34歳、組合健保は男性が50～54歳、女性が40～44歳でピークとなっており、また、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）男性が約1.57ヶ月分、組合健保男性が約3.37ヶ月分、協会（一般）女性が約1.64ヶ月分、組合健保女性が約2.43ヶ月分となっている。

また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）において男性と女性の間に大きな差は見られないが、組合健保においては男性の方が高くなっている。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成21年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	279,216	317,127	217,924	389,655	432,800	321,219	1.396	1.365	1.474
15～19歳	166,415	172,898	159,875	107,951	120,973	94,813	0.649	0.700	0.593
20～24	195,804	206,558	186,329	248,925	252,663	245,631	1.271	1.223	1.318
25～29	228,822	245,185	208,338	352,233	364,239	337,183	1.539	1.486	1.618
30～34	261,085	285,605	218,980	415,990	449,349	358,738	1.593	1.573	1.638
35～39	289,429	322,878	223,802	455,447	504,840	358,770	1.574	1.564	1.603
40～44	306,141	353,023	227,043	460,351	520,428	359,553	1.504	1.474	1.584
45～49	313,883	372,013	229,245	471,680	544,159	367,033	1.503	1.463	1.601
50～54	316,103	374,873	229,005	460,353	529,114	359,439	1.456	1.411	1.570
55～59	310,868	361,377	225,990	408,230	459,375	323,371	1.313	1.271	1.431
60～64	283,013	311,040	216,382	257,466	283,862	198,062	0.910	0.913	0.915
65～69	265,836	283,573	216,057	181,432	199,346	137,758	0.682	0.703	0.638
70～74	263,686	281,564	218,590	137,502	148,623	112,319	0.521	0.528	0.514
75歳以上	264,485	287,522	217,927	80,289	90,025	61,080	0.304	0.313	0.280

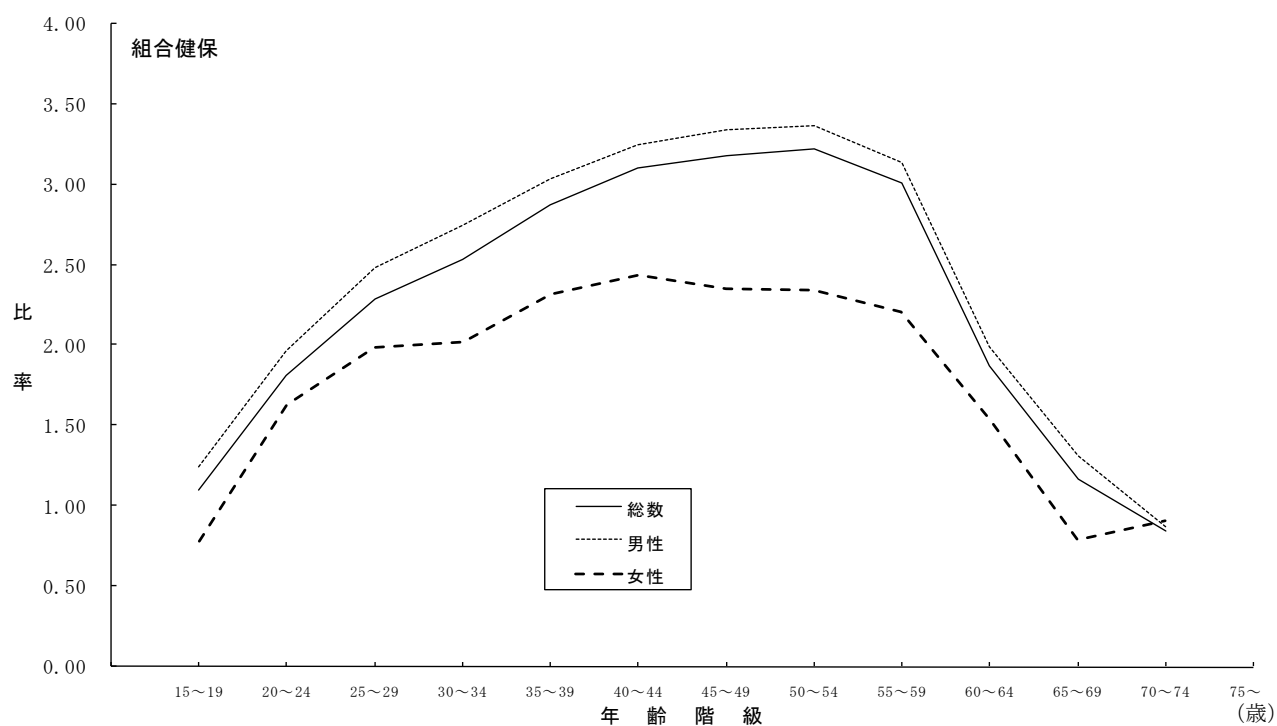
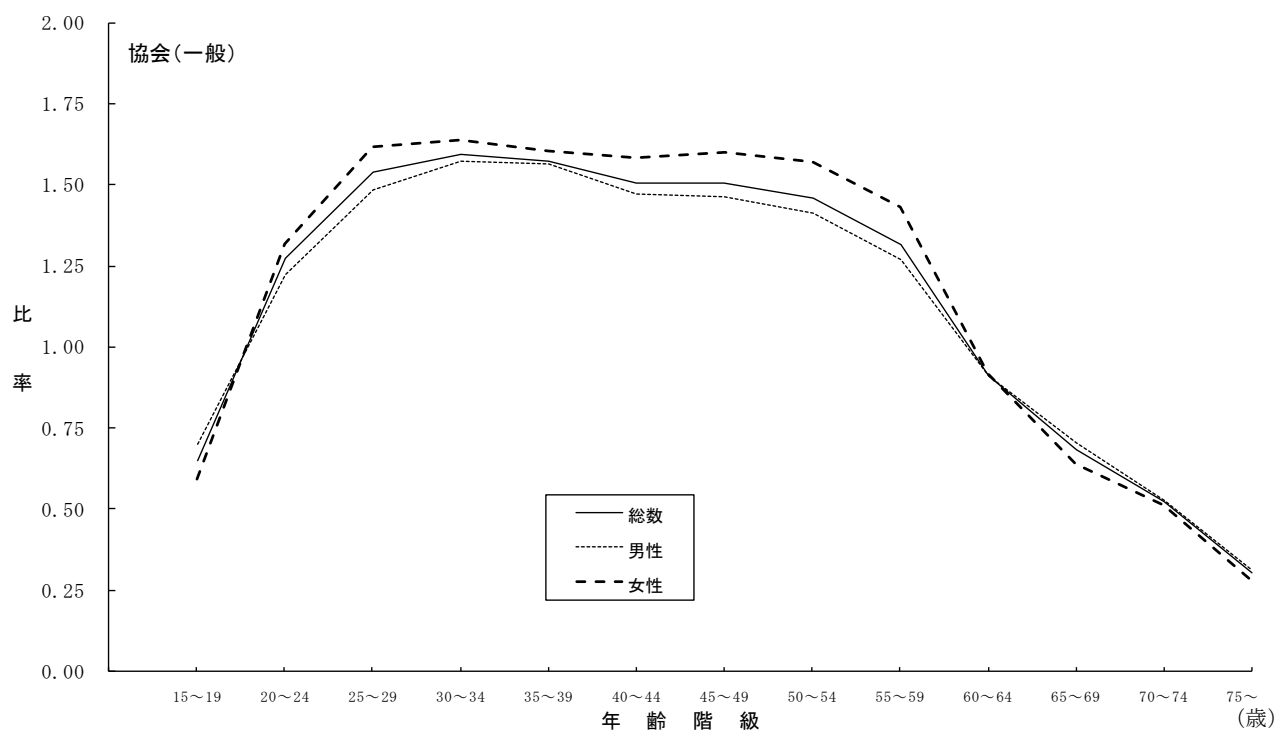
（2）組合健保

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	359,898	405,845	255,452	1,008,933	1,221,861	539,024	2.803	3.011	2.110
15～19歳	179,577	184,859	168,568	197,563	229,308	131,400	1.100	1.240	0.780
20～24	220,798	230,982	208,834	401,385	453,684	339,762	1.818	1.964	1.627
25～29	268,245	285,423	244,373	615,126	708,938	483,967	2.293	2.484	1.980
30～34	313,711	343,879	257,804	797,015	944,949	520,529	2.541	2.748	2.019
35～39	361,248	398,624	271,724	1,041,032	1,211,475	628,023	2.882	3.039	2.311
40～44	416,212	467,264	282,435	1,291,498	1,519,063	687,364	3.103	3.251	2.434
45～49	442,044	503,279	273,748	1,407,555	1,681,886	643,390	3.184	3.342	2.350
50～54	465,977	525,710	277,784	1,503,230	1,770,938	649,609	3.226	3.369	2.339
55～59	444,095	500,043	253,246	1,339,713	1,571,000	559,028	3.017	3.142	2.207
60～64	333,043	355,658	240,107	625,473	708,934	367,832	1.878	1.993	1.532
65～69	312,807	326,237	240,109	366,742	426,920	189,969	1.172	1.309	0.791
70～74	300,641	311,355	235,167	255,060	270,449	213,167	0.848	0.869	0.906
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注1）平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成21年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額を年齢階級別に示したものが表12－1及び図7である。

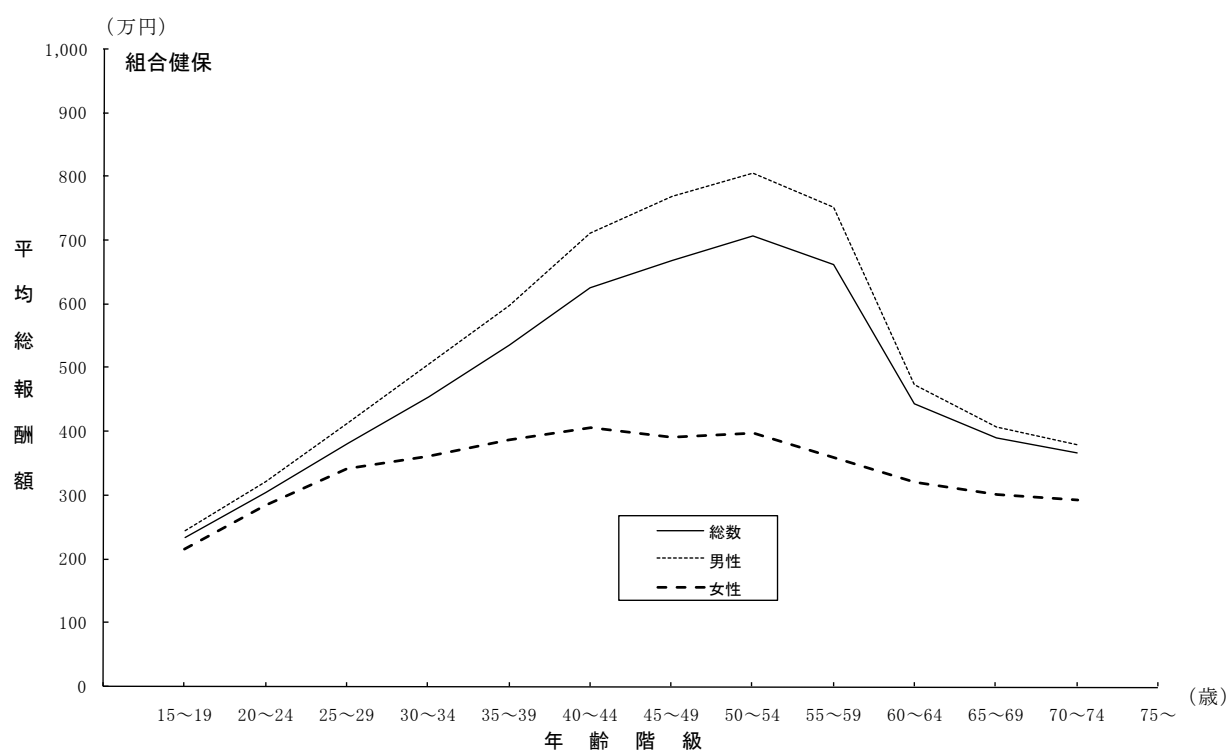
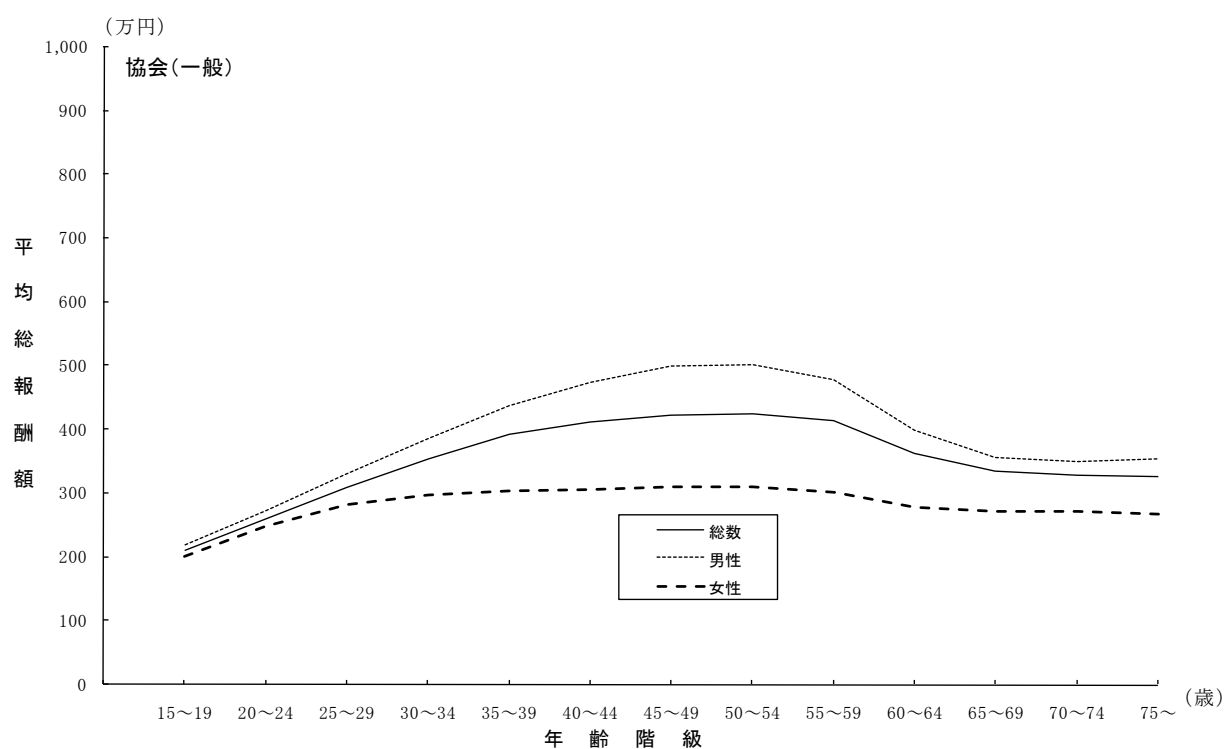
年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は、協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が5,017,771円、組合健保が8,058,919円となっている。女性の平均総報酬額についても男性とほぼ同様の傾向にあり、協会（一般）は45～49歳、組合健保は40～44歳でピークとなっているが、男性と比べるとなだらかなであり、年齢階級による格差があまりみられない。

組合健保の協会（一般）に対する比率をみると、男性は50～54歳、女性は40～44歳の階級が最も差が大きく、男性が約1.61倍、女性が約1.32倍となっており、また、平均では男性が約1.43倍、女性が約1.22倍となっている。

表12－1 年齢階級別平均総報酬額（平成21年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	3,730,602	4,224,532	2,932,054	5,283,962	6,028,398	3,591,730	1.416	1.427	1.225
15～19	2,104,811	2,195,615	2,013,203	2,352,485	2,447,611	2,154,221	1.118	1.115	1.070
20～24	2,597,396	2,730,196	2,480,394	3,049,499	3,224,451	2,843,981	1.174	1.181	1.147
25～29	3,095,366	3,303,866	2,834,372	3,829,415	4,130,452	3,411,084	1.237	1.250	1.203
30～34	3,544,888	3,872,078	2,983,065	4,553,819	5,065,113	3,606,294	1.285	1.308	1.209
35～39	3,923,473	4,373,301	3,040,924	5,365,055	5,986,283	3,877,040	1.367	1.369	1.275
40～44	4,128,274	4,749,111	3,080,801	6,269,857	7,112,574	4,061,584	1.519	1.498	1.318
45～49	4,232,064	4,999,293	3,114,944	6,692,126	7,703,309	3,913,018	1.581	1.541	1.256
50～54	4,246,830	5,017,771	3,104,295	7,073,250	8,058,919	3,967,817	1.666	1.606	1.278
55～59	4,130,450	4,784,528	3,031,288	6,631,295	7,523,829	3,586,745	1.605	1.573	1.183
60～64	3,631,983	3,988,216	2,785,083	4,449,035	4,749,567	3,213,983	1.225	1.191	1.154
65～69	3,344,051	3,565,640	2,722,162	3,910,324	4,076,010	3,013,457	1.169	1.143	1.107
70～74	3,286,104	3,506,365	2,730,499	3,674,441	3,796,491	2,928,583	1.118	1.083	1.073
75歳以上	3,251,500	3,536,659	2,675,174	-	-	-	-	-	-

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成21年10月1日現在）



次に平成21年の平均総報酬額の伸び率を示したものが表12－2である。

これによると、平均総報酬額の伸び率は、協会（一般）の男性は4.10％減、女性は1.24％減、組合健保の男性は5.06％減、女性は1.19％減となっている。この伸び率を要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は4.27％減、女性は1.32％減、組合健保の男性は5.29％減、女性は1.36％減、年齢構成の変化による分の影響で、協会（一般）の男性は0.19％増、女性は0.08％増、組合健保の男性は0.24％増、女性は0.17％増となっている。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成20年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均総報酬額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表12－2 平均総報酬額の伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成20年 平均総報酬額 (円)	平成21年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	3,859,173	3,730,602	▲ 3.33	▲ 3.52	0.19
男性	4,404,942	4,224,532	▲ 4.10	▲ 4.27	0.19
女性	2,968,842	2,932,054	▲ 1.24	▲ 1.32	0.08

(2) 組合健保

	平成20年 平均総報酬額 (円)	平成21年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	5,517,031	5,283,962	▲ 4.22	▲ 4.44	0.23
男性	6,349,462	6,028,398	▲ 5.06	▲ 5.29	0.24
女性	3,634,915	3,591,730	▲ 1.19	▲ 1.36	0.17

10. 被保険者の年齢階級別標準賞与額0円の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、協会（一般）は0.354、組合健保は0.172となっており、協会（一般）の方が組合健保よりも割合が高くなっている。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については協会（一般）、組合健保ともに年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が30～34歳で0.279、組合健保が35～39歳で0.090となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）は75歳以上で0.862、組合健保は70～74歳で0.816となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が25～29歳で0.306、組合健保が15～19歳で0.179となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）が75歳以上で0.866、組合健保が65～69歳で0.611となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成21年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	0.354	0.357	0.350	0.172	0.127	0.274
15～19歳	0.346	0.324	0.368	0.184	0.187	0.179
20～24	0.315	0.309	0.321	0.195	0.159	0.238
25～29	0.296	0.288	0.306	0.205	0.142	0.292
30～34	0.292	0.279	0.313	0.193	0.122	0.326
35～39	0.305	0.293	0.329	0.149	0.090	0.293
40～44	0.329	0.325	0.335	0.139	0.097	0.252
45～49	0.338	0.343	0.330	0.139	0.095	0.262
50～54	0.354	0.365	0.338	0.132	0.104	0.222
55～59	0.384	0.397	0.363	0.130	0.111	0.196
60～64	0.493	0.498	0.479	0.312	0.311	0.314
65～69	0.619	0.622	0.610	0.512	0.527	0.469
70～74	0.752	0.749	0.758	0.761	0.816	0.611
75歳以上	0.864	0.862	0.866	—	—	—

（注1）標準賞与額0円の割合については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成21年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で協会（一般）17.8%、組合健保13.7%となっており、年齢の上昇に伴いおおむね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、25歳未満で1年未満の被保険者が多くなっており、特に20歳未満では、協会（一般）・組合健保ともに7割を超えている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60歳以上65歳未満の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成21年10月1日現在）
（単位：％）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	17.8	82.2	100.0	13.7	86.3
15～19歳	100.0	71.6	28.4	100.0	71.3	28.7
20～24	100.0	37.1	62.9	100.0	36.4	63.6
25～29	100.0	23.5	76.5	100.0	19.4	80.6
30～34	100.0	17.9	82.1	100.0	13.8	86.2
35～39	100.0	15.6	84.4	100.0	9.7	90.3
40～44	100.0	14.9	85.1	100.0	8.9	91.1
45～49	100.0	13.5	86.5	100.0	7.3	92.7
50～54	100.0	12.1	87.9	100.0	7.1	92.9
55～59	100.0	11.2	88.8	100.0	7.0	93.0
60～64	100.0	19.6	80.4	100.0	19.7	80.3
65～69	100.0	15.3	84.7	100.0	6.4	93.6
70～74	100.0	10.5	89.5	100.0	2.3	97.7
75歳以上	100.0	5.0	95.0	-	-	-

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数をみると組合健保の方が若干大きい。また、年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに20～24歳で最も小さくなっており、70歳以上75歳未満の階級で最も大きくなっている。また、50歳以上では、組合健保よりも協会（一般）の方がおおむね比率が大きい傾向にある。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成21年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
	円	円		円	円	
総 数	223, 229	291, 369	1. 305	270, 433	374, 157	1. 384
15～19歳	162, 263	176, 887	1. 090	172, 163	198, 024	1. 150
20～24	187, 128	200, 920	1. 074	207, 560	228, 365	1. 100
25～29	210, 792	234, 357	1. 112	239, 543	275, 153	1. 149
30～34	229, 918	267, 892	1. 165	265, 973	321, 322	1. 208
35～39	240, 467	298, 511	1. 241	288, 729	369, 043	1. 278
40～44	243, 766	317, 058	1. 301	328, 071	424, 791	1. 295
45～49	244, 218	324, 726	1. 330	332, 151	450, 687	1. 357
50～54	244, 299	326, 013	1. 334	412, 597	470, 045	1. 139
55～59	242, 604	319, 450	1. 317	375, 254	449, 310	1. 197
60～64	227, 781	296, 446	1. 301	296, 791	341, 958	1. 152
65～69	208, 390	276, 226	1. 326	291, 316	314, 286	1. 079
70～74	199, 058	271, 293	1. 363	159, 333	304, 032	1. 908
75歳以上	235, 722	266, 006	1. 128	－	－	－

12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等

業態別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したのが表16である。

業態の大分類による被保険者総数に占める割合を高い順にみると、協会（一般）は製造業の20.2%、卸売・小売業の14.9%、医療・福祉の14.7%、組合健保は製造業の33.2%（うち機械器具が17.0%）、卸売・小売業の14.2%、サービス業の10.9%となっている。

扶養率の高い業態は、協会（一般）では建設業の1.125、鉱業・採石業・砂利採取業の1.121、組合健保では電気・ガス・熱供給・水道業の1.404、建設業の1.196であり、逆に低い業態は、協会（一般）では公務の0.316、組合健保では医療・福祉の0.459となっている。

平均標準報酬月額の最も高い業態は、協会（一般）、組合健保ともに電気・ガス・熱供給・水道業であり、それぞれ333,910円、493,829円、逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の180,219円、組合健保では宿泊業、飲食サービス業の266,609円となっている。また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）、組合健保ともに約1.85倍となっている。

また、平均標準賞与額の最も高い業態は、協会（一般）は金融業・保険業の622,749円であり、組合健保は鉱業・採石業・砂利採取業の1,809,182円である。逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の151,202円、組合健保では宿泊業・飲食サービス業の422,184円となり、また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）が約4.12倍、組合健保が約4.29倍となっている。

表16 業態別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成21年10月1日現在）

業 態 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
総 数	100.0	0.772	279,216	389,655	100.0	0.879	359,898	1,008,933
農 林 水 産 業	0.8	0.880	258,226	357,487	0.2	0.927	355,309	1,220,836
鉱業・採石業・砂利採取業	0.2	1.121	310,596	389,811	0.0	1.091	369,091	1,809,182
建 設 業	9.2	1.125	317,629	300,684	2.7	1.196	407,747	1,200,447
製 造 業	20.2	0.845	279,486	436,763	33.2	1.028	369,067	1,236,894
食 料 品	3.9	0.661	246,457	351,765	2.1	0.908	339,131	996,415
繊維工業・繊維製品	1.2	0.585	230,343	239,261	0.6	0.508	293,881	524,541
木 材 ・ 木 製 品	0.8	0.927	264,385	248,141	0.2	1.136	335,424	586,000
化 学 工 業	2.1	0.908	296,508	539,014	5.8	1.010	389,699	1,379,955
金 属 工 業	2.5	0.967	300,144	481,675	2.3	1.068	353,479	1,247,339
機 械 器 具	6.5	0.912	288,573	507,692	17.0	1.081	373,711	1,301,357
そ の 他	3.2	0.867	294,682	409,681	5.2	0.962	359,528	1,064,476
電気・ガス・熱供給・水道	1.0	0.966	333,910	563,084	1.7	1.404	493,829	1,787,564
情 報 通 信 業	1.8	0.752	325,956	398,630	8.5	0.777	410,782	864,773
運 輸 業 ・ 郵 便 業	7.9	0.960	269,691	258,913	6.7	1.086	358,271	835,507
卸 売 業 ・ 小 売 業	14.9	0.803	290,533	381,914	14.2	0.776	323,128	761,350
金 融 業 ・ 保 険 業	0.6	0.935	327,530	622,749	7.7	0.787	400,297	1,222,108
不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業	2.2	0.799	301,347	336,652	1.4	0.943	376,044	870,540
学術研究、専門・技術サービス	3.5	0.725	314,591	467,757	0.8	0.826	419,186	1,192,372
宿泊業・飲食サービス業	2.9	0.630	252,751	199,509	1.2	0.514	266,609	422,184
生活関連サービス業・娯楽	3.0	0.622	269,696	271,065	1.2	0.533	288,611	651,794
教 育 ・ 学 習 支 援 業	1.5	0.457	261,813	352,488	0.3	0.589	401,684	1,251,137
医 療 ・ 福 祉	14.7	0.458	267,389	541,112	2.7	0.459	345,256	788,794
複 合 サ ー ビ ス 業	1.2	0.782	253,284	583,746	0.7	0.655	308,251	882,399
サ ー ビ ス 業	9.5	0.725	269,346	344,773	10.9	0.639	320,750	648,083
公 務	2.2	0.316	180,219	151,202	1.4	0.833	403,608	1,365,698
任 意 継 続 分	2.5	0.922	221,708	-	2.6	0.792	304,854	-
特 例 退 職 分	-	-	-	-	1.8	0.888	260,569	-

（注1）業態別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

事業所の従業員数（規模）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者構成割合が高い規模は、協会（一般）では規模100人以上300人未満の17.2%であり、また、規模100人未満の割合は61.8%となっている。一方、組合健保では規模1,000人以上が48.6%と最も高く、また、規模100人以上の割合は83.6%と、協会（一般）とは逆の傾向にある。

規模別の扶養率は、協会（一般）は規模が大きくなるにつれ扶養率はおおむね減少の傾向にあり、規模5人未満の0.875が最も高くなっている。一方、組合健保は規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、その中でも規模1,000人以上が0.936と最も高くなっている。

規模と平均標準報酬月額との関係を見ると、協会（一般）は規模5人以上10人未満、組合健保は10人以上20人未満でピークを迎えたのち減少となるが、組合健保についてはその後再び上昇している。

また、規模と平均標準賞与額との関係を見ると、協会（一般）、組合健保とも規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にある。協会（一般）では規模500人以上1,000人未満の554,984円、組合健保では規模1,000人以上の1,209,597円が最も高くなっている。

表17 事業所の規模別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成21年10月1日現在）

規 模 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.772	279,216	389,655	100.0	0.879	359,898	1,008,933
1～4人	8.4	0.875	278,511	141,375	0.3	0.716	286,183	239,294
5～9	10.4	0.831	302,727	244,687	0.7	0.777	357,962	493,422
10～19	12.7	0.834	300,421	314,882	1.5	0.844	386,299	514,247
20～29	7.9	0.812	289,868	363,767	1.4	0.818	355,769	490,193
30～49	9.5	0.805	282,579	390,665	2.7	0.790	345,312	629,099
50～99	12.9	0.751	270,795	429,759	5.4	0.797	338,596	687,505
100～299	17.2	0.711	269,295	489,830	14.3	0.793	335,562	784,911
300～499	6.1	0.687	272,463	543,799	8.6	0.861	347,356	886,599
500～999	5.8	0.681	274,653	554,984	12.1	0.862	351,762	955,198
1,000人以上	6.5	0.634	258,566	480,208	48.6	0.936	380,845	1,209,597
任意継続分	2.5	0.922	221,708	-	2.6	0.792	304,854	-
特例退職分	・	・	・	・	1.8	0.888	260,569	-

（注1）規模別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成20年10月1日から平成21年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

1 4. 被保険者数の推移について

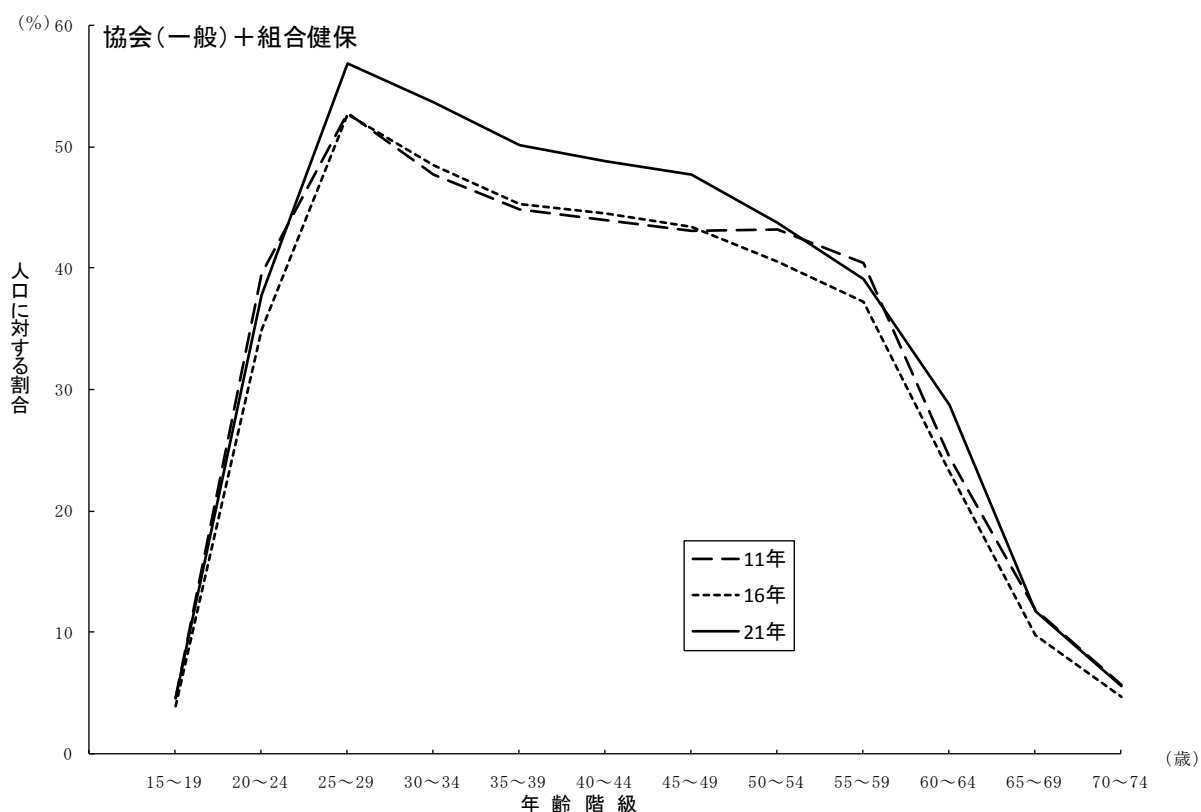
1) 被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8-1、8-2である。

被保険者割合を協会（一般）と組合健保の計でみると、平成11年から16年にかけては20歳代及び50歳代以降で減少しているが、平成16年から21年にかけては全ての年齢階級で増加しており、これらはそれぞれの期間の雇用環境の悪化と改善が影響しているものと考えられる。

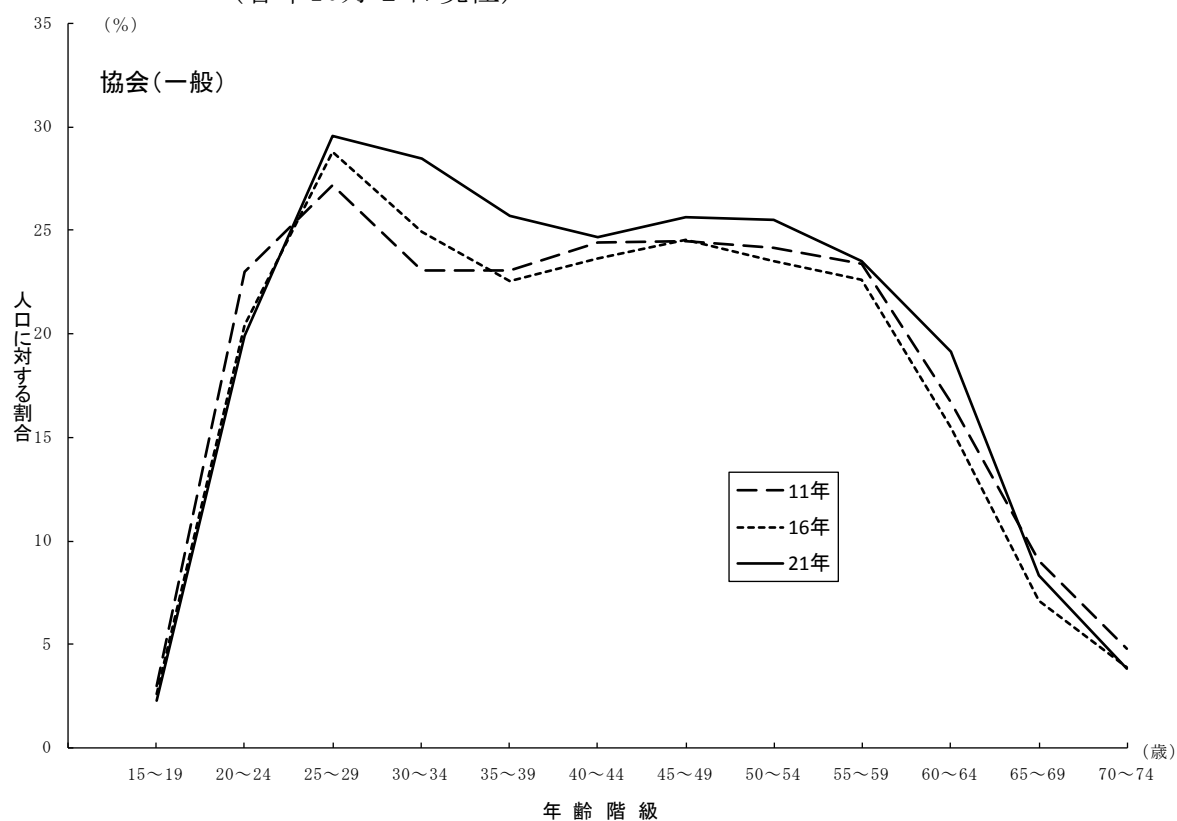
また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は平成11年から16年にかけては25歳以上35歳未満を除き減少しているが、平成16年から21年にかけては25歳以上70歳未満の各年齢階級で増加している。一方、組合健保は平成11年から16年にかけては35歳以上50歳未満で増加しており、平成16年から21年にかけては全ての年齢階級で増加している。

図8-1 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

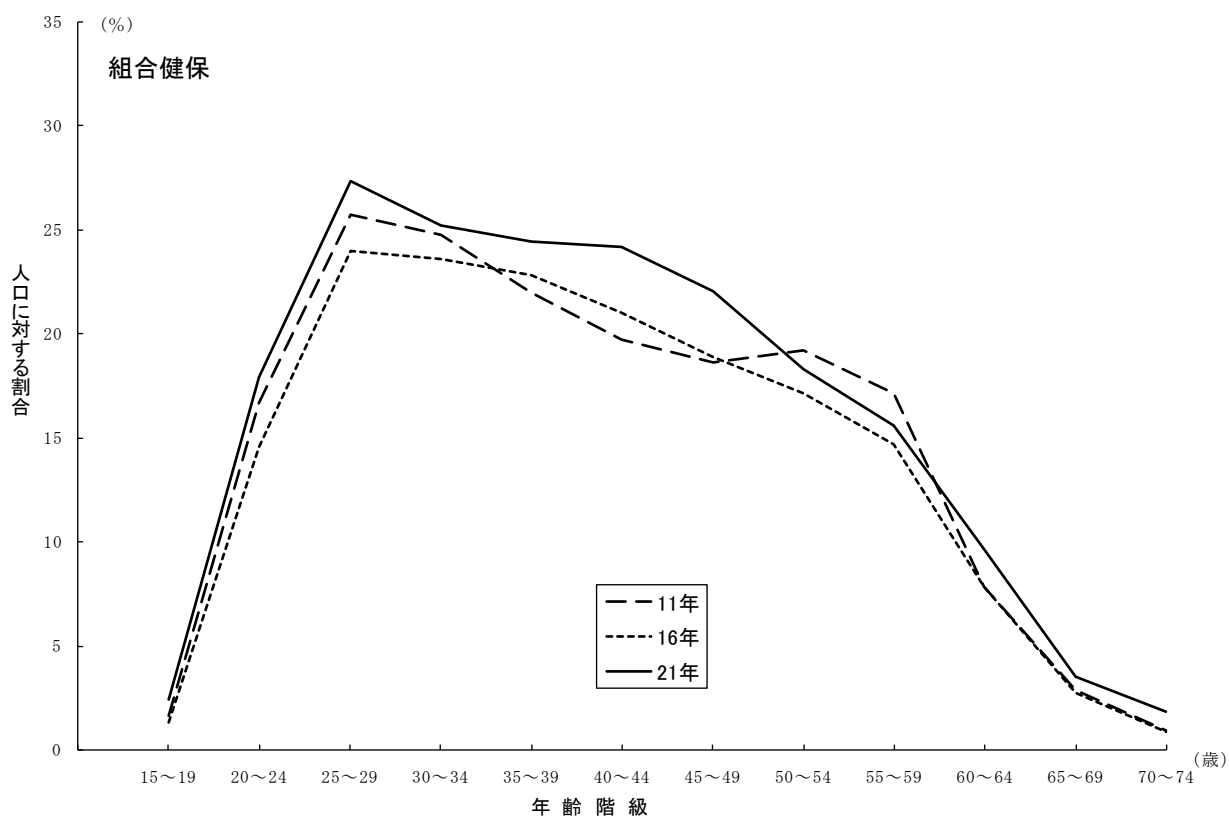


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 8 - 2 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月 1 日現在）



（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



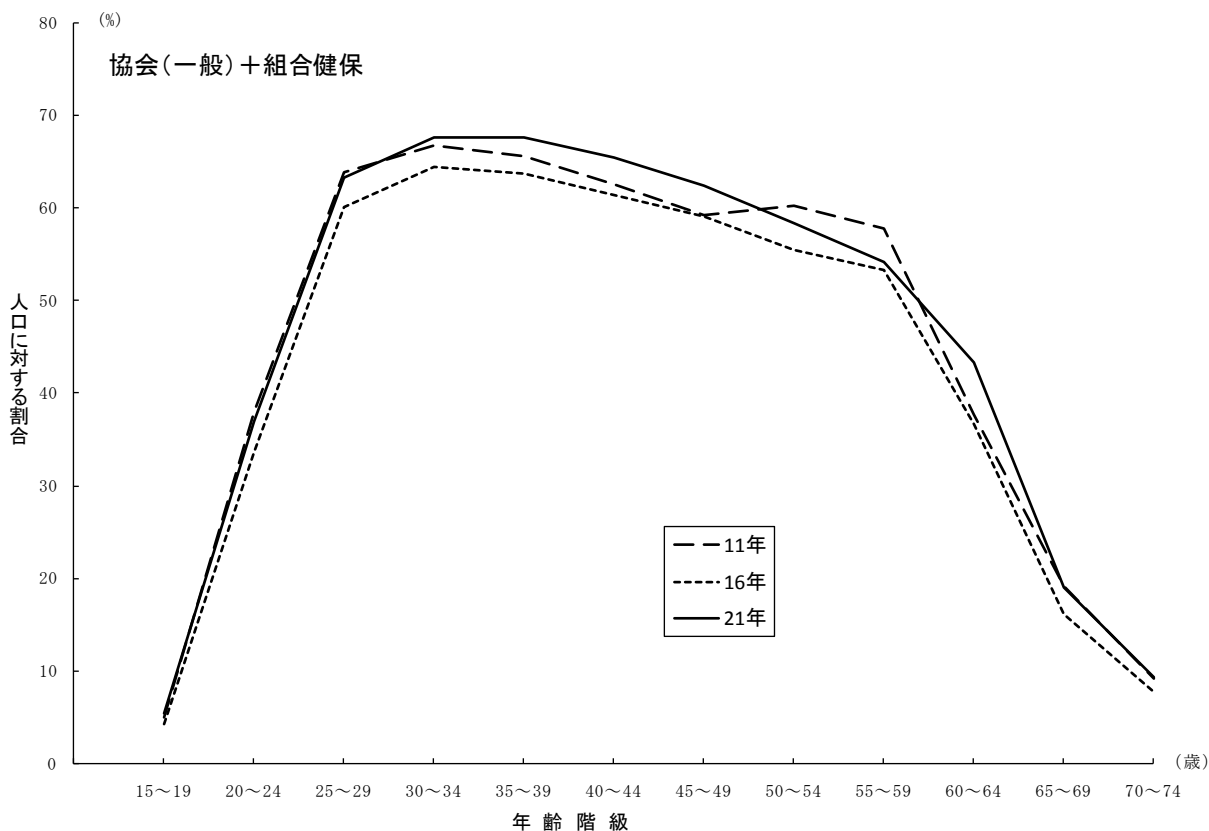
（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図9-1、9-2である。

男性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成11年から16年にかけては全年齢階級で減少、平成16年から平成21年にかけては全年齢階級で増加しており、それぞれの期間の雇用環境の悪化と改善が影響しているものと考えられる。

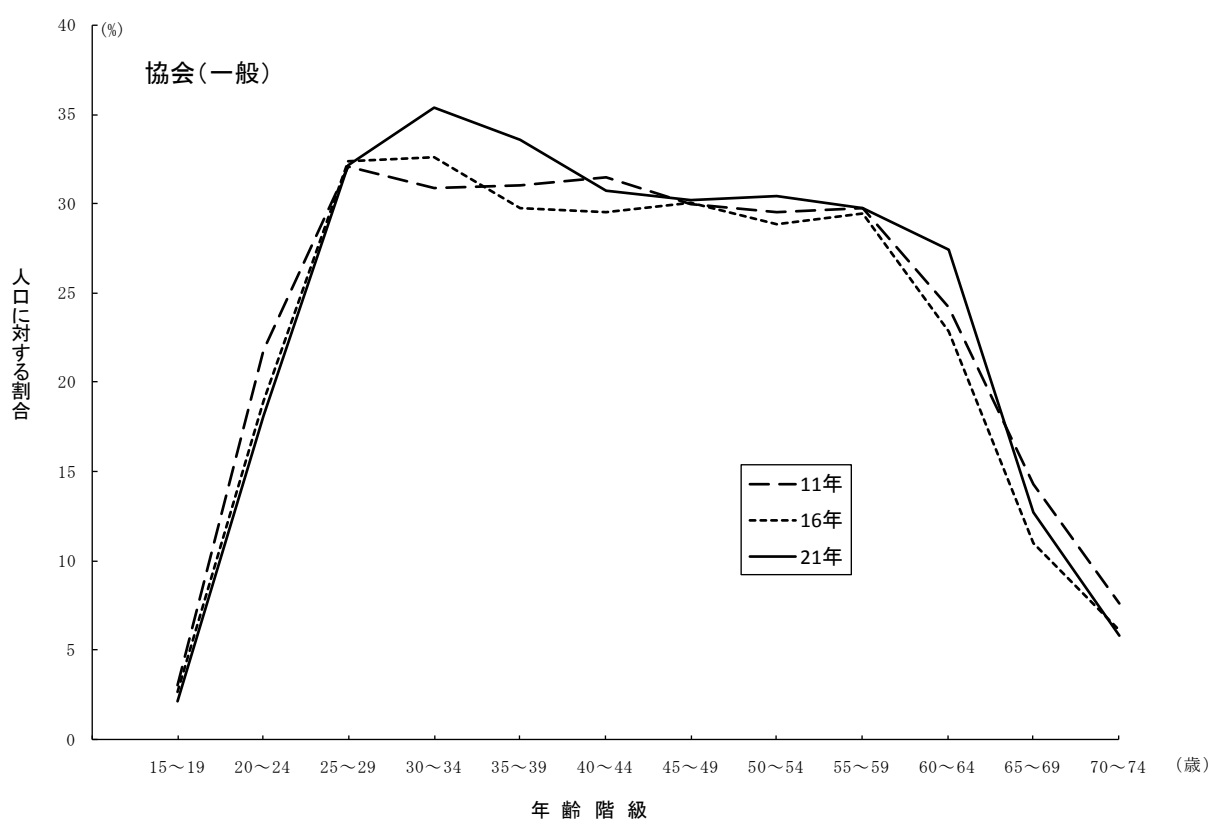
また、男性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、平成11年から16年にかけては協会（一般）よりも組合健保の方が20歳代の減少幅が大きくなっており、平成16年から平成21年にかけては、協会（一般）より組合健保の方が20歳代の増加幅が大きくなっている。

図9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

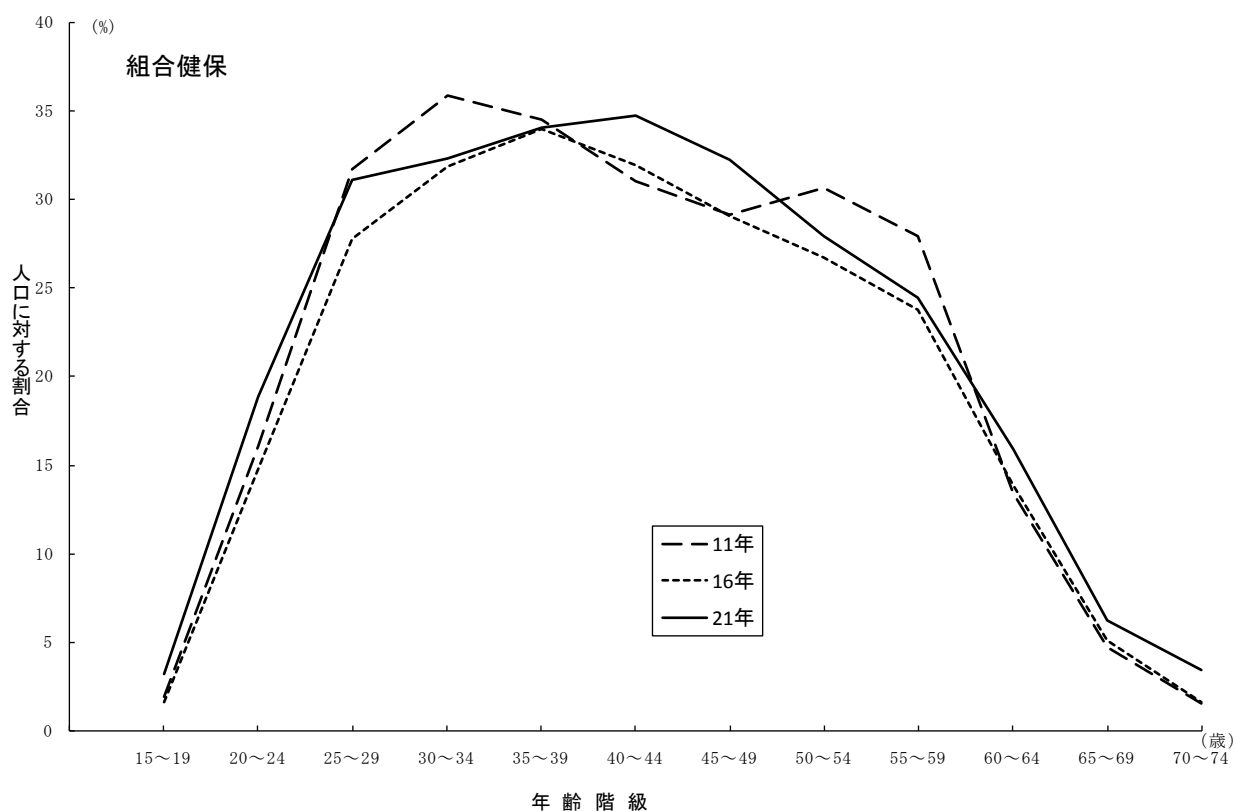


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 9 - 2 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



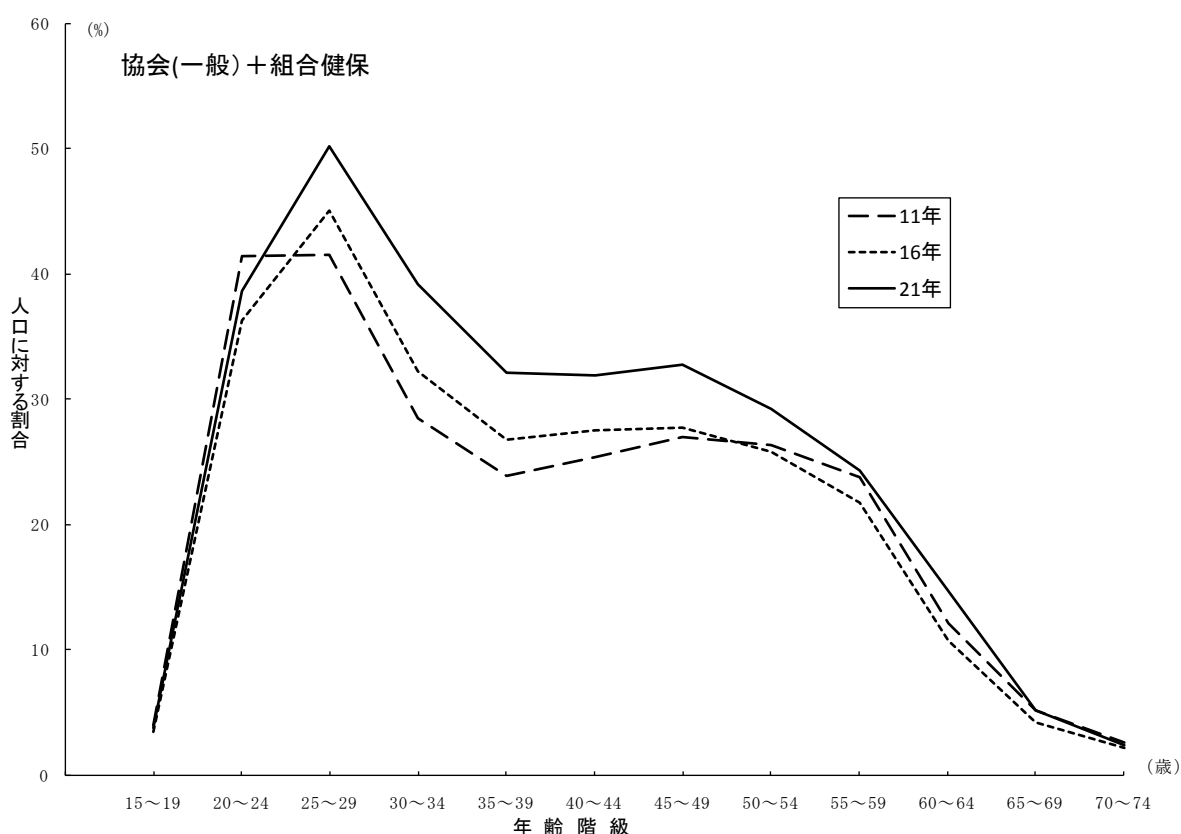
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図10－1、10－2である。

女性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成11年から平成16年にかけては男性とは異なり、20歳代後半から40歳代前半にかけて、増加がみられる。平成16年から平成21年にかけては全年齢階級で増加しており、30歳代から50歳代にかけては増加の幅が男性よりも大きくなっている。これらはそれぞれの期間の雇用環境の変化が男性と同様にあるとともに、被用者として就労する女性が増加したことが大きく影響しているものと考えられる。

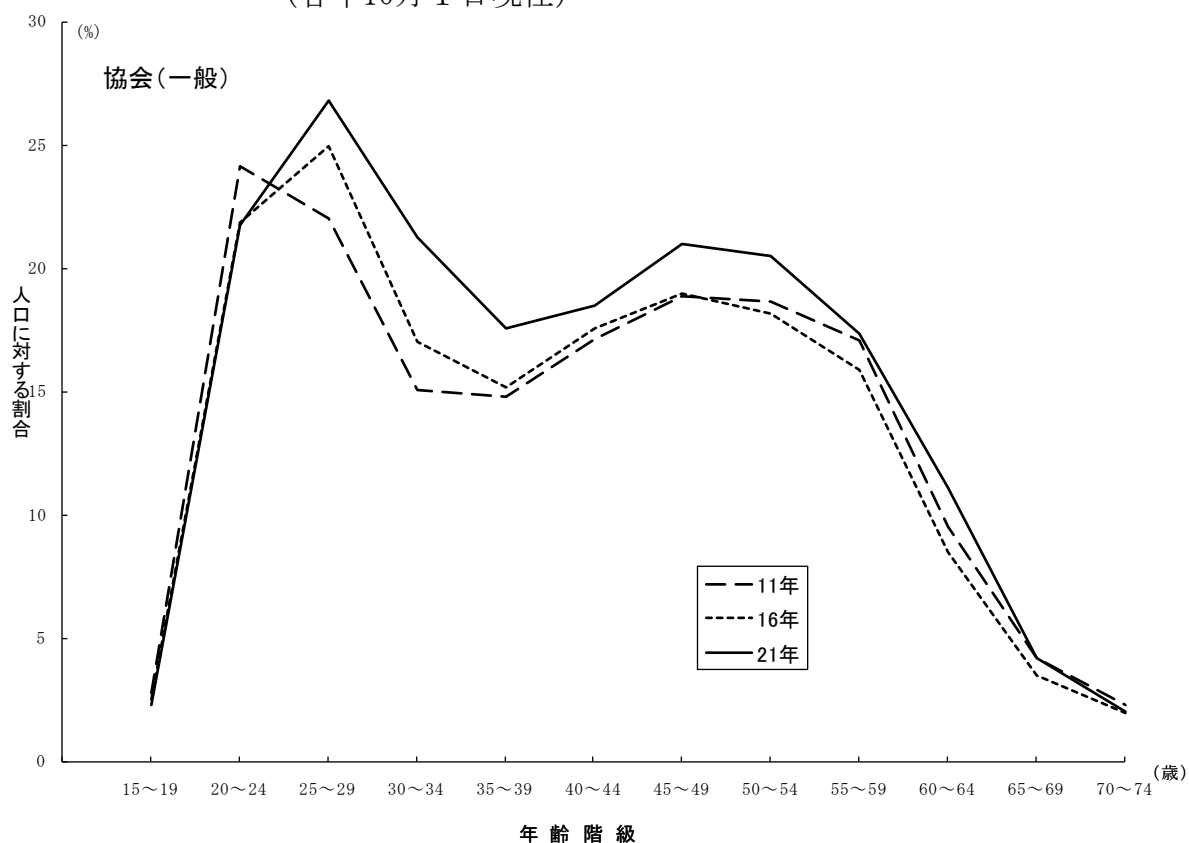
また、女性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれを平成21年についてみると、協会（一般）、組合健保ともに25歳以上30歳未満でピークを迎えるが、組合健保はその後減少し続けるのに対し、協会（一般）は40歳代で再び増加に転じ、45歳以上50歳未満で再びピークを迎えた後に減少に転じている。

図10－1 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

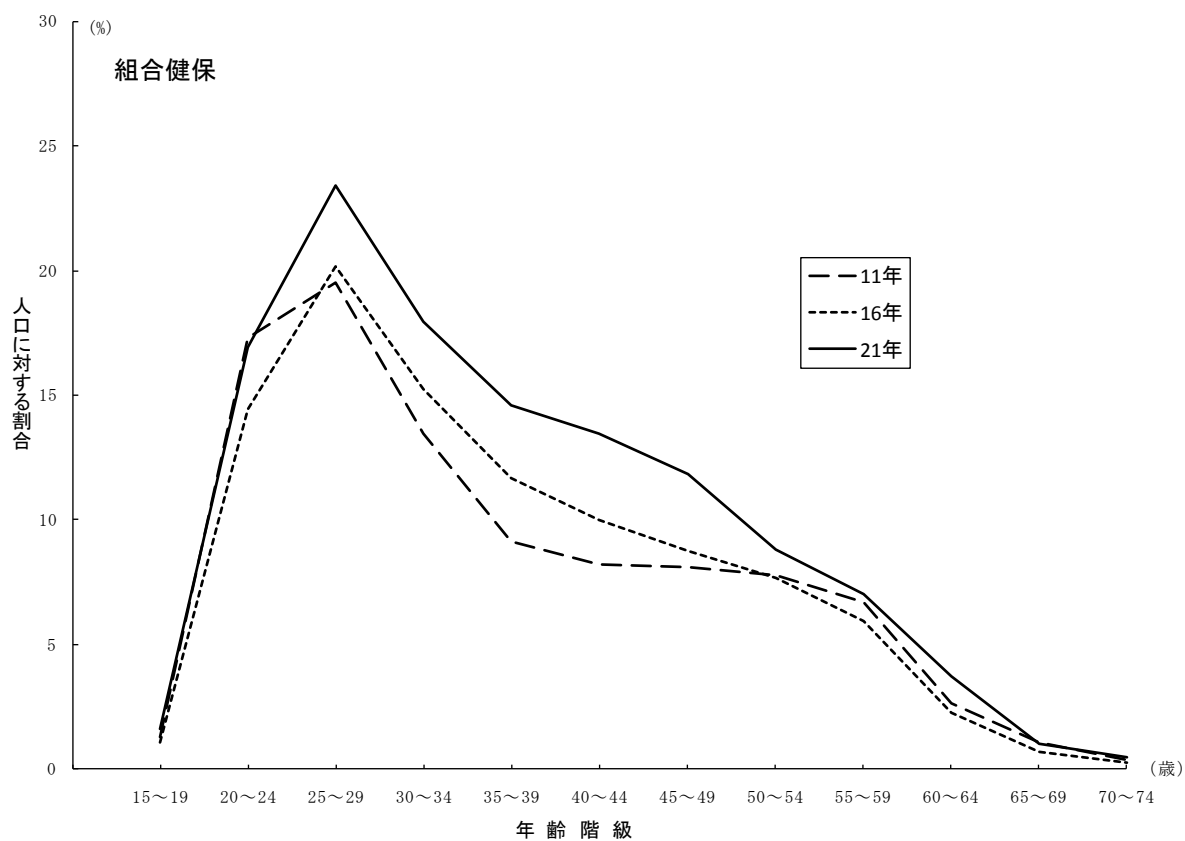


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図10－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

2) コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表18である。

協会（一般）と組合健保計の被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。被保険者割合が増加したのは、平成11年から平成16年にかけては30歳未満のコーホートであったが、平成16年から平成21年にかけては55歳未満のコーホートまでに拡大している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、全ての年齢階級で増加しており、これは雇用環境の改善の影響と考えられる。特に、25～29歳が8.8%、60～64歳が8.5%と大きくプラスとなっており、若年層の雇用改善と高齢者雇用の進展がみられる。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減の差をみると、20歳代から30歳代については協会（一般）より組合健保の方が大きくなっている一方、45歳以降については組合健保より協会（一般）の方が概ね大きくなっている。

表18 コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）・組合健保計（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.6	4.0	4.7	-	-	-
20～24	39.7	35.0	37.8	30.4	33.8	3.4
25～29	52.9	52.8	56.9	13.1	21.9	8.8
30～34	47.8	48.5	53.6	-4.3	0.9	5.2
35～39	44.9	45.4	50.1	-2.4	1.6	4.0
40～44	44.1	44.6	48.8	-0.3	3.4	3.8
45～49	43.1	43.5	47.7	-0.6	3.1	3.7
50～54	43.3	40.6	43.8	-2.4	0.3	2.8
55～59	40.5	37.4	39.1	-5.9	-1.5	4.4
60～64	24.5	23.3	28.7	-17.1	-8.6	8.5
65～69	11.8	9.9	11.8	-14.6	-11.6	3.1
70～74	5.6	4.7	5.6	-7.1	-4.2	2.8

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.9	2.6	2.2	-	-	-
20～24	23.0	20.4	19.9	17.5	17.3	-0.2
25～29	27.1	28.7	29.5	5.8	9.1	3.3
30～34	23.1	24.9	28.4	-2.3	-0.3	1.9
35～39	23.0	22.5	25.6	-0.5	0.8	1.3
40～44	24.4	23.6	24.7	0.6	2.1	1.5
45～49	24.5	24.5	25.6	0.1	2.0	1.9
50～54	24.1	23.5	25.4	-1.0	0.9	1.9
55～59	23.3	22.6	23.5	-1.5	0.0	1.5
60～64	16.7	15.5	19.1	-7.9	-3.5	4.3
65～69	9.0	7.1	8.3	-9.6	-7.2	2.4
70～74	4.7	3.9	3.8	-5.1	-3.3	1.8

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.6	1.4	2.4	-	-	-
20～24	16.7	14.6	17.9	13.0	16.6	3.6
25～29	25.7	24.0	27.4	7.3	12.8	5.4
30～34	24.8	23.6	25.2	-2.1	1.2	3.3
35～39	21.9	22.9	24.5	-1.9	0.8	2.7
40～44	19.7	21.0	24.2	-0.9	1.3	2.2
45～49	18.6	19.0	22.1	-0.7	1.1	1.8
50～54	19.2	17.2	18.3	-1.5	-0.6	0.9
55～59	17.1	14.7	15.6	-4.4	-1.5	2.9
60～64	7.8	7.9	9.7	-9.3	-5.1	4.2
65～69	2.8	2.8	3.5	-5.1	-4.4	0.7
70～74	0.9	0.9	1.9	-1.9	-0.9	1.0

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表19である。

被保険者割合をコーホートでみると、男女総数と同様に、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。協会（一般）と組合健保の計で被保険者割合が増加したのは、平成11年から平成16年にかけては35歳未満のコーホートであったが、平成16年から平成21年にかけては50歳未満のコーホートまでに拡大している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、全ての年齢階級で増加しており、雇用環境の改善の影響と考えられる。男女総数と比べ60～64歳が11.1%と大きくプラスとなっており、高齢者雇用の進展については特に男性被保険者においてみられることが分かる。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減をみると、協会（一般）は65～69歳で大きく減少するのに対し、組合健保については60歳から大きく減少し始め、退職の時期が協会（一般）と組合健保とで異なっているものと考えられる。。

表19 コーホートでみた男性被保険者数の男性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成 1 1 年	1 6 年	2 1 年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15 ～ 19 歳	5.0	4.4	5.4	-	-	-
20 ～ 24	38.0	33.7	37.0	28.7	32.6	3.9
25 ～ 29	63.8	60.1	63.3	22.2	29.5	7.3
30 ～ 34	66.7	64.5	67.6	0.7	7.5	6.9
35 ～ 39	65.6	63.7	67.6	-3.0	3.2	6.1
40 ～ 44	62.6	61.5	65.5	-4.1	1.7	5.8
45 ～ 49	59.1	59.1	62.4	-3.4	1.0	4.4
50 ～ 54	60.3	55.6	58.3	-3.6	-0.8	2.8
55 ～ 59	57.7	53.3	54.2	-7.0	-1.4	5.6
60 ～ 64	37.7	36.7	43.3	-21.0	-9.9	11.1
65 ～ 69	19.2	16.2	19.0	-21.5	-17.8	3.7
70 ～ 74	9.3	7.8	9.3	-11.4	-6.9	4.5

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	3.1	2.7	2.2	-	-	-
20～24	21.9	19.0	18.1	15.9	15.4	-0.5
25～29	32.1	32.4	32.1	10.5	13.1	2.6
30～34	30.9	32.6	35.4	0.5	3.0	2.5
35～39	31.1	29.8	33.6	-1.1	1.0	2.1
40～44	31.6	29.5	30.7	-1.5	1.0	2.5
45～49	30.0	30.0	30.2	-1.5	0.7	2.2
50～54	29.6	28.8	30.4	-1.2	0.4	1.6
55～59	29.8	29.5	29.7	-0.1	0.9	1.0
60～64	24.3	22.9	27.5	-6.9	-2.0	4.9
65～69	14.4	11.1	12.8	-13.2	-10.1	3.1
70～74	7.7	6.1	5.8	-8.2	-5.2	3.0

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.9	1.6	3.2	-	-	-
20～24	16.1	14.8	18.8	12.8	17.2	4.4
25～29	31.7	27.7	31.1	11.6	16.4	4.7
30～34	35.8	31.9	32.3	0.2	4.5	4.3
35～39	34.5	34.0	34.1	-1.9	2.2	4.1
40～44	31.0	31.9	34.7	-2.6	0.8	3.3
45～49	29.1	29.1	32.2	-1.9	0.3	2.2
50～54	30.7	26.7	27.9	-2.4	-1.2	1.2
55～59	27.9	23.8	24.4	-6.9	-2.3	4.5
60～64	13.4	13.8	15.9	-14.1	-7.9	6.2
65～69	4.8	5.1	6.2	-8.3	-7.6	0.7
70～74	1.6	1.6	3.4	-3.1	-1.7	1.5

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表20である。

被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代前半で大きく増加した後、結婚、出産の影響により一度減少するが、その後、再就職により増加した後、定年退職の影響で大きく減少している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、男性と同様に全ての年齢階級で増加している。特に、25～29歳が10.2%と大きくプラスになっており、若年層の雇用改善が進んでいることがみられる。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と同様の傾向を示している。

表20 コーホートでみた女性被保険者数の女性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.1	3.5	3.9	-	-	-
20～24	41.5	36.3	38.7	32.2	35.1	2.9
25～29	41.5	45.1	50.2	3.7	13.9	10.2
30～34	28.5	32.2	39.2	-9.3	-5.9	3.4
35～39	23.9	26.8	32.1	-1.7	-0.1	1.6
40～44	25.4	27.5	31.9	3.6	5.1	1.5
45～49	27.0	27.8	32.8	2.4	5.2	2.9
50～54	26.4	25.8	29.3	-1.2	1.5	2.7
55～59	23.8	21.8	24.3	-4.6	-1.5	3.1
60～64	12.2	10.7	14.8	-13.1	-7.1	6.0
65～69	5.3	4.2	5.2	-8.0	-5.5	2.5
70～74	2.7	2.2	2.5	-3.1	-1.7	1.4

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.8	2.5	2.3	-	-	-
20～24	24.1	21.9	21.7	19.1	19.2	0.1
25～29	22.0	25.0	26.8	0.9	4.9	4.1
30～34	15.0	17.0	21.2	-5.0	-3.7	1.3
35～39	14.8	15.2	17.5	0.1	0.5	0.4
40～44	17.1	17.6	18.5	2.8	3.3	0.5
45～49	18.9	19.0	20.9	1.9	3.4	1.5
50～54	18.6	18.1	20.5	-0.7	1.5	2.2
55～59	17.1	15.9	17.3	-2.7	-0.8	1.9
60～64	9.5	8.5	11.1	-8.6	-4.8	3.8
65～69	4.2	3.5	4.2	-6.1	-4.3	1.7
70～74	2.3	1.9	2.0	-2.2	-1.5	0.8

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成11年	16年	21年	11年→16年①	16年→21年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.3	1.1	1.6	-	-	-
20～24	17.3	14.4	16.9	13.1	15.9	2.8
25～29	19.5	20.2	23.4	2.8	9.0	6.1
30～34	13.5	15.2	18.0	-4.3	-2.2	2.1
35～39	9.2	11.6	14.6	-1.8	-0.6	1.2
40～44	8.3	10.0	13.5	0.8	1.8	1.0
45～49	8.1	8.8	11.8	0.5	1.9	1.3
50～54	7.8	7.7	8.8	-0.5	0.1	0.5
55～59	6.7	5.9	7.0	-1.9	-0.7	1.2
60～64	2.6	2.3	3.7	-4.5	-2.2	2.3
65～69	1.1	0.7	1.1	-1.9	-1.2	0.7
70～74	0.4	0.3	0.5	-0.8	-0.2	0.6

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について

1) 子の場合

各年度の男性被保険者における子の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減及びその差を示したものが表21である。

未婚率の増加や出生率の減少に伴い、同じ年齢階級でみると子の扶養率は年々減少しているが、その特徴を①20歳～30歳代、②40歳代以降の年齢階級別にコーホートでみると次のようになる。

① 20歳代～30歳代

この年代は、結婚に伴う子の誕生によって扶養率が増加している。平成16年～平成21年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに30～34歳が最も大きく、次いで35～39歳となっている。また、平成11年～平成16年と平成16年～平成21年の差をみると、協会（一般）、組合健保ともに全ての年齢階級で減少しており、これは少子化の影響と考えられる。

② 40歳代以降

40歳代以降は、子の成長により扶養率は減少している。平成21年における扶養率のピークは、協会（一般）、組合健保ともに45～49歳となっているが、ピーク時の扶養率は、年々減少している。

また、平成16年～平成21年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに50歳以降は減少している。

表21 男性被保険者における子の扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成11年 (75歳以上を除く)	16年 (75歳以上を除く)	21年	11～16①	16～21②	差②－①
総数	0.738	0.703	0.655	-	-	-
15～19歳	0.015	0.016	0.014	-	-	-
20～24	0.090	0.108	0.097	0.093	0.081	-0.012
25～29	0.308	0.316	0.310	0.225	0.202	-0.023
30～34	0.798	0.689	0.670	0.380	0.354	-0.026
35～39	1.272	1.097	0.963	0.299	0.274	-0.025
40～44	1.523	1.362	1.157	0.089	0.060	-0.029
45～49	1.370	1.363	1.179	-0.160	-0.183	-0.023
50～54	0.897	0.906	0.894	-0.464	-0.470	-0.005
55～59	0.383	0.430	0.433	-0.468	-0.473	-0.005
60～64	0.154	0.174	0.192	-0.209	-0.238	-0.029
65～69	0.081	0.093	0.103	-0.061	-0.071	-0.010
70～74	0.053	0.062	0.071	-0.019	-0.022	-0.003

(2) 組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成11年 (75歳以上を除く)	16年 (75歳以上を除く)	21年	11～16①	16～21②	差②－①
総数	0.814	0.776	0.712	-	-	-
15～19歳	0.000	0.026	0.030	-	-	-
20～24	0.035	0.049	0.043	0.049	0.016	-0.033
25～29	0.219	0.226	0.215	0.192	0.166	-0.026
30～34	0.688	0.609	0.605	0.389	0.378	-0.011
35～39	1.218	1.044	0.951	0.356	0.342	-0.014
40～44	1.587	1.394	1.192	0.175	0.148	-0.027
45～49	1.525	1.448	1.268	-0.139	-0.125	0.014
50～54	1.002	1.008	1.000	-0.517	-0.448	0.069
55～59	0.393	0.490	0.466	-0.511	-0.542	-0.031
60～64	0.143	0.186	0.193	-0.208	-0.298	-0.090
65～69	0.075	0.085	0.084	-0.059	-0.101	-0.043
70～74	0.072	0.062	0.077	-0.013	-0.007	0.006

2) 配偶者の場合

各年度の男性被保険者における配偶者の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減を示したものが表22である。後期高齢者医療制度の導入による影響を除くため、平成11年及び平成16年については、75歳以上の者を除いた扶養率を作成し比較している。

配偶者の扶養率を同じ年齢階級でみると、被用者として就労する女性の増加、非婚男性の増加などの影響により減少傾向にあるが、コーホートでみると次のようになる。

おおむね40歳頃までは、配偶者の扶養率は増加するが、その後一度減少した後再び増加し、65～69歳で最も高くなる。

この変化の要因は、それぞれ40歳以降の減少は配偶者が働き始めるため、55歳前後からの増加は働いていた配偶者が退職するため、70歳以降の減少は75歳以上の配偶者が後期高齢者医療制度に適用され被扶養者でなくなるためと考えられる。

表22 男性被保険者における配偶者の扶養率（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成11年 (75歳以上を除く)	16年 (75歳以上を除く)	21年	11～16①	16～21②	差②－①
総数	0.414	0.442	0.420	-	-	-
15～19歳	0.021	0.020	0.018	-	-	-
20～24	0.088	0.094	0.082	0.073	0.062	-0.011
25～29	0.147	0.223	0.200	0.135	0.107	-0.028
30～34	0.439	0.386	0.346	0.239	0.123	-0.115
35～39	0.530	0.486	0.429	0.047	0.044	-0.004
40～44	0.527	0.504	0.454	-0.025	-0.032	-0.007
45～49	0.498	0.491	0.449	-0.036	-0.056	-0.020
50～54	0.502	0.496	0.455	-0.003	-0.037	-0.034
55～59	0.550	0.547	0.507	0.045	0.011	-0.034
60～64	0.622	0.640	0.604	0.090	0.058	-0.033
65～69	0.659	0.663	0.646	0.041	0.006	-0.035
70～74	0.609	0.595	0.584	-0.064	-0.080	-0.015

（２）組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成11年 (75歳以上を除く)	16年 (75歳以上を除く)	21年	11～16①	16～21②	差②－①
総数	0.536	0.522	0.478	-	-	-
15～19歳	0.006	0.026	0.020	-	-	-
20～24	0.048	0.050	0.038	0.043	0.012	-0.032
25～29	0.203	0.197	0.158	0.148	0.108	-0.040
30～34	0.453	0.403	0.358	0.200	0.162	-0.038
35～39	0.612	0.560	0.478	0.107	0.075	-0.032
40～44	0.660	0.630	0.564	0.018	0.004	-0.015
45～49	0.660	0.643	0.578	-0.017	-0.052	-0.035
50～54	0.682	0.647	0.600	-0.013	-0.043	-0.030
55～59	0.729	0.697	0.657	0.015	0.009	-0.006
60～64	0.776	0.768	0.737	0.039	0.039	0.001
65～69	0.790	0.811	0.807	0.035	0.040	0.005
70～74	0.831	0.825	0.759	0.035	-0.052	-0.086